

## 4 農畜産物の生産流通動向

### (1) 米

#### ア 生産動向

(ア) 令和4年産水稻の作柄は、10a当たりの収量が549kg、作況指数は100であり、作付面積は5万7,800ha、収穫量は31万7,300tとなっています。

東日本大震災の津波被害や原子力災害の影響等により、震災前の平成22年度と比較し、作付面積は2万2,800ha、収穫量は12万8,400tそれぞれ減少しています。

なお、令和4年産の地域別の作況指数は、中通りが100、浜通りが100、会津が99となっています。

(イ) 種子の配布数量から推定される令和4年産米の品種構成は、「コシヒカリ」が48.3%、「天のつぶ」が21.3%、「ひとめぼれ」が17.4%、その他が13.0%となっています。

#### 水陸稲作付面積・収穫量

		水陸稲合計		水 稲			
		作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	10a当たり 収量(kg)	収穫量 (t)	作況 指数
福島県	昭60	98,800	543,600	98,100	553	542,500	111
	平2	90,400	487,800	89,800	542	486,700	106
	7	91,900	464,000	91,600	506	463,500	99
	12	82,300	447,800	82,300	544	447,700	104
	17	82,800	449,100	82,700	543	449,100	101
	22	80,600	445,700	80,600	553	445,700	103
	23	64,400	353,600	64,400	549	353,600	102
	24	66,200	368,700	66,200	557	368,700	104
	25	68,200	382,600	68,200	561	382,600	104
	26	68,200	381,900	68,200	560	381,900	104
	27	65,600	365,400	65,600	557	365,400	101
	28	64,200	356,300	64,200	555	356,300	102
	29	64,000	351,400	64,000	549	351,400	100
	30	64,900	364,100	64,900	561	364,100	101
	令和	65,800	368,500	65,800	560	368,500	102
	2	65,300	367,000	65,300	562	367,000	102
	3	60,500	335,800	60,500	555	335,800	101
4	57,800	317,300	57,800	549	317,300	100	
(令4)	中通り	—	—	31,000	531	164,600	100
	浜通り	—	—	6,600	518	34,200	100
	会津	—	—	20,200	588	118,800	99
全国	令4	1,355,000	7,270,000	1,355,000	536	7,269,000	100
東北	令4	348,300	1,948,000	348,300	559	1,948,000	98

(資料：農林水産省「作物統計」)

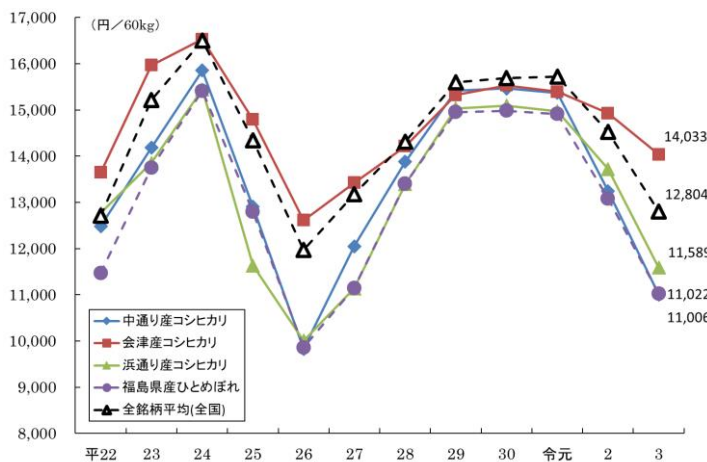
#### イ 価格動向

令和3年産米は、作付転換は進んだものの、在庫量・生産量の増加や需要減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響等による消費減退も加わって需給環境が悪化し、価格が下落しました。

#### 米の年産別平均相対価格

(単位：円/60kg)

	平22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和	2	3
中通り産コシヒカリ	12,486	14,181	15,854	12,906	9,829	12,048	13,876	15,412	15,463	15,369	13,245	11,006
会津産コシヒカリ	13,646	15,966	16,526	14,792	12,612	13,424	14,212	15,321	15,528	15,392	14,929	14,033
浜通り産コシヒカリ	12,768	13,855	15,443	11,634	10,005	11,138	13,392	15,036	15,096	14,974	13,720	11,589
福島県産ひとめぼれ	11,472	13,746	15,414	12,793	9,860	11,146	13,401	14,955	14,981	14,913	13,081	11,022
全銘柄平均(全国)	12,711	15,215	16,501	14,341	11,967	13,175	14,307	15,595	15,688	15,716	14,529	12,804



※価格には、運賃、包装代、消費税相当額が含まれる。(27年産分より全農契約分の運賃を含まない。)

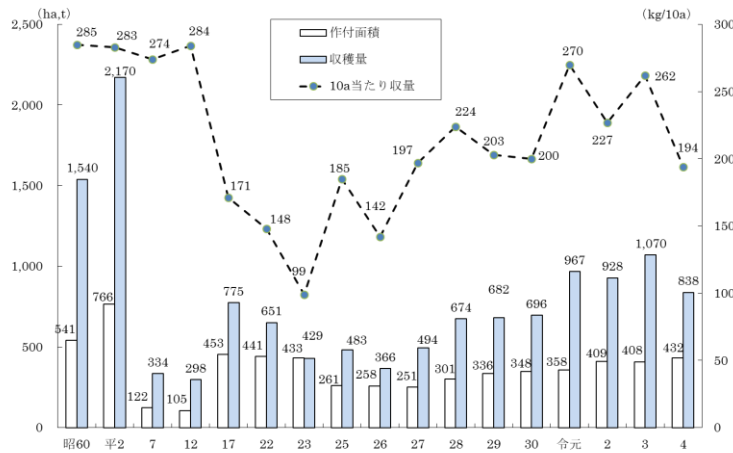
(資料：農林水産省公表資料)

(2) 麦類・豆類・そば

ア 小麦

令和4年産の小麦の作付面積は432ha、収穫量は838t、10a当たり収量は194kgとなっています。県産小麦を使った加工品（ラーメンやうどん等）の生産販売の取組が見られています。

本県の「小麦」生産の推移



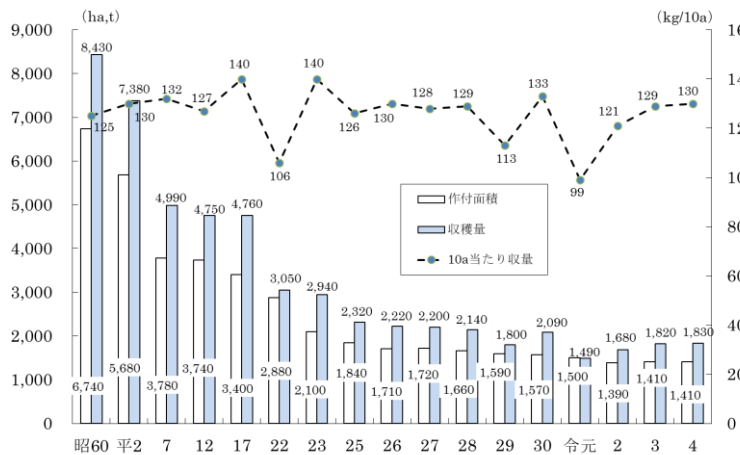
	作付面積 (ha)	10a 当たり収量 (kg)	収穫量 (t)	10a 当たり平均収量対比 (%)	
福島県	昭60	541	285	1,540	104
	平2	766	283	2,170	98
	7	122	274	334	93
	12	105	284	298	93
	17	453	171	775	75
	22	441	148	651	80
	23	433	99	429	54
	25	261	185	483	105
	26	258	142	366	82
	27	251	197	494	119
	28	301	203	682	119
	29	336	200	696	110
	30	348	270	967	141
	令元	409	227	928	112
2	408	227	1,070	125	
3	432	194	838	87	
全国	令4	227,300	437	993,500	99
東北	令4	6,300	267	16,800	110

(資料：農林水産省「作物統計」)

イ 大豆

令和4年産の大豆の作付面積は1,410ha、収穫量は1,830t、10a当たり収量は130kgとなっています。生産拡大とあわせ、県内加工業界等からの需要に対応できるように品質向上を推進しています。

本県の「大豆」生産の推移



	作付面積 (ha)	10a 当たり収量 (kg)	収穫量 (t)	10a 当たり平均収量対比 (%)	
福島県	昭60	6,740	125	8,430	98
	平2	5,680	130	7,380	101
	7	3,780	132	4,990	102
	12	3,740	127	4,750	98
	17	3,400	140	4,760	110
	22	2,880	106	3,050	79
	23	2,100	140	2,940	107
	25	1,840	126	2,320	97
	26	1,710	130	2,220	97
	27	1,720	128	2,200	96
	28	1,660	129	2,140	98
	29	1,590	113	1,800	88
	30	1,570	133	2,090	103
	令元	1,500	99	1,490	77
2	1,390	121	1,680	96	
3	1,410	129	1,820	103	
4	1,410	130	1,830	105	
全国	令4	151,600	160	242,800	100
東北	令4	37,800	122	46,300	83

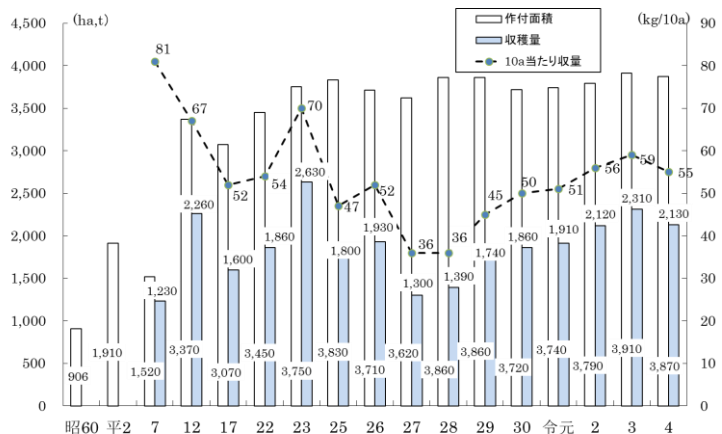
(資料：農林水産省「作物統計」)

ウ そば

令和4年産のそばの作付面積は3,870ha、収穫量は2,130t、10a当たり収量は55kgとなっています。県内各地でそば祭りが開催されるなど、地域おこしと結びついた生産が広がっています。

また、平成20年より県オリジナル品種「会津のかおり」の生産が開始されており、令和4年の作付面積は約1,000haとなっています。

本県の「そば」生産の推移



	作付面積 (ha)	10a 当たり収量 (kg)	収穫量 (t)	10a 当たり平均収量対比 (%)	
福島県	昭60	906	—	—	—
	平2	1,910	—	—	—
	7	1,520	81	1,230	1230
	12	3,370	67	2,260	2260
	17	3,070	52	1,600	1600
	22	3,450	54	1,860	1860
	23	3,750	70	2,630	2630
	25	3,830	47	1,800	1800
	26	3,710	52	1,930	1930
	27	3,620	36	1,300	1300
	28	3,860	36	1,390	1390
	29	3,720	45	1,740	1740
	30	3,720	50	1,860	1860
	令元	3,740	51	1,910	1910
2	3,790	56	2,120	2120	
3	3,910	59	2,310	2310	
4	3,870	55	2,130	2130	
全国	令4	65,600	61	40,000	40000
東北	令4	17,900	41	7,250	7250

(資料：農林水産省「作物統計」)

(3) 野菜

主要野菜（ばれいしょを含む 20 品目）の作付面積は 6,837ha となっています。

本県の令和 3 年産主要野菜（ばれいしょを含む 20 品目）種類別作付面積、収穫量及び出荷量

	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	出荷量 (t)
根 菜 類	1,978	40,660	12,371
葉 茎 菜 類	2,676	42,175	23,686
果 菜 類	2,076	74,120	64,074
果 実 的 野 菜	107	2,330	2,060
計	6,837	159,285	102,191

(資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」)

野菜の種類区分 (20 品目)

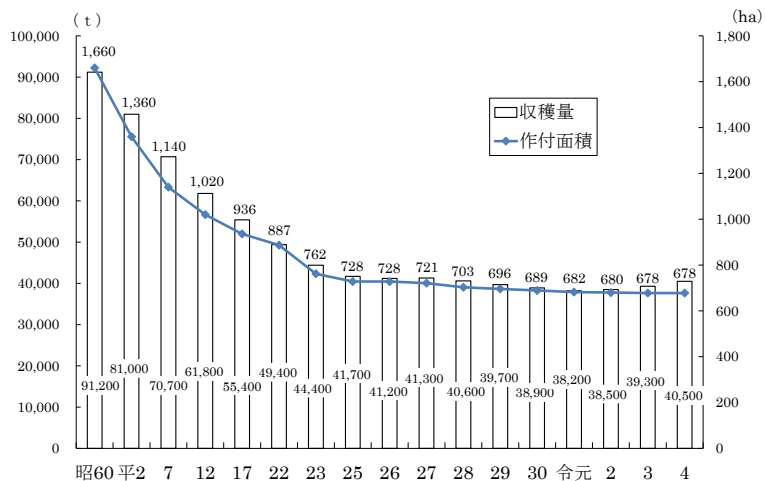
根 菜 類	だ い こ ん	葉 茎 菜 類	は く さ い	果 菜 類	き ゆ う り	果 実 的 野 菜	い ち ご
	に ん じ ん		ち ん げ ん さ い		な す		
	ば れ い し ょ		ほ う れ ん そ う		ト マ ト		
	さ と い も		し ゆ ん ぎ く		ピ ー マ ン		
			ア ス パ ラ ガ ス		さ や い ん げ ん		
			ブ ロ ッ コ リ ー		さ や え ん ど う		
			ね ぎ				
	に ら ぎ						
	た ま ね ぎ						

ア 果菜類（きゅうり、トマト）

本県の令和4年産の作付面積はきゅうり 678ha、トマト 349ha

本県の主力品目であるきゅうり、トマトの作付面積は生産者の高齢化等の影響により、前年に比べ減少しています。

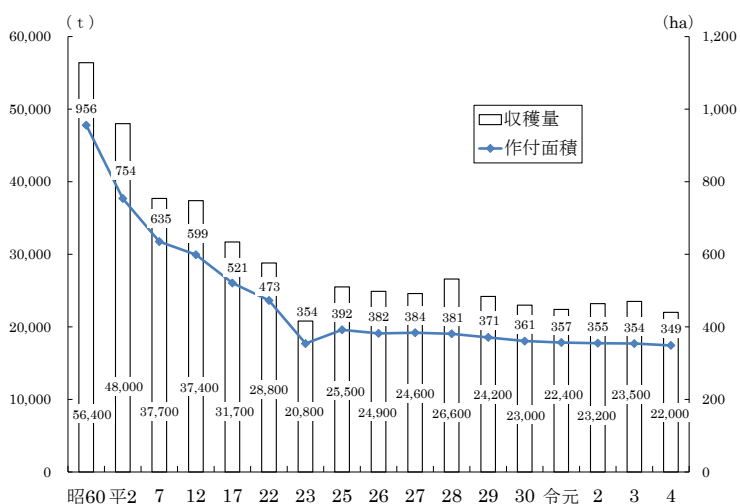
本県の「きゅうり」生産の推移



		きゅうり		
		作付面積 (ha)	収穫量 (t)	出荷量 (t)
福島県	昭60	1,660	91,200	78,635
	平2	1,360	81,000	69,900
	7	1,140	70,700	62,800
	12	1,020	61,800	53,900
	17	936	55,400	49,100
	22	887	49,400	44,200
	23	762	44,400	40,100
	25	728	41,700	37,600
	26	728	41,200	37,000
	27	721	41,300	37,200
	28	703	40,600	36,400
	29	696	39,700	35,700
	30	689	38,900	34,900
	令元	682	38,200	34,200
	2	680	38,500	34,500
	3	678	39,300	35,400
4	678	40,500	36,500	
全国	令4	9,770	548,600	476,900

(資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」)

本県の「トマト」生産の推移



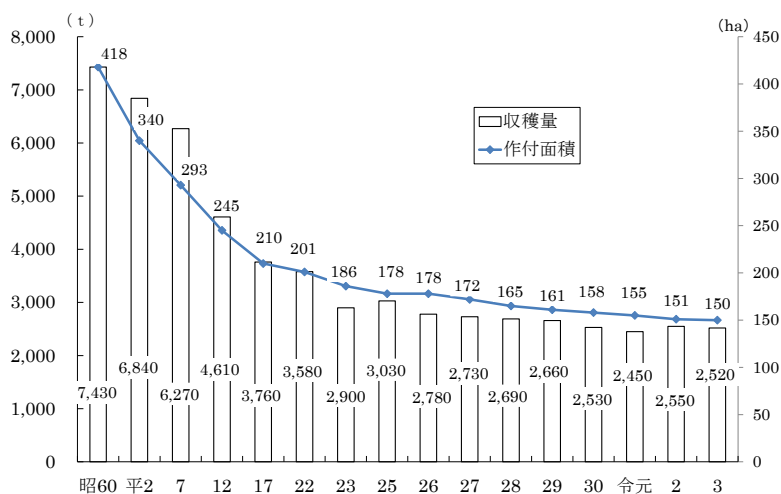
		トマト		
		作付面積 (ha)	収穫量 (t)	出荷量 (t)
福島県	昭60	956	56,400	52,120
	平2	754	48,000	44,100
	7	635	37,700	34,500
	12	599	37,400	34,200
	17	521	31,700	28,600
	22	473	28,800	25,900
	23	354	20,800	18,500
	25	392	25,500	23,000
	26	382	24,900	22,600
	27	384	24,600	22,300
	28	381	26,600	24,100
	29	371	24,200	21,900
	30	361	23,000	20,400
	令元	357	22,400	19,900
	2	355	23,200	20,500
	3	354	23,500	20,900
4	349	22,000	19,500	
全国	令4	11,200	707,900	645,300

(資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」)

イ 葉茎菜類 (にら、アスパラガス、ブロッコリー)

本県の令和3年産の作付面積はにら 150ha、アスパラガス 338ha、ブロッコリー441ha  
にら、アスパラガスの作付面積は、前年から減少しています。

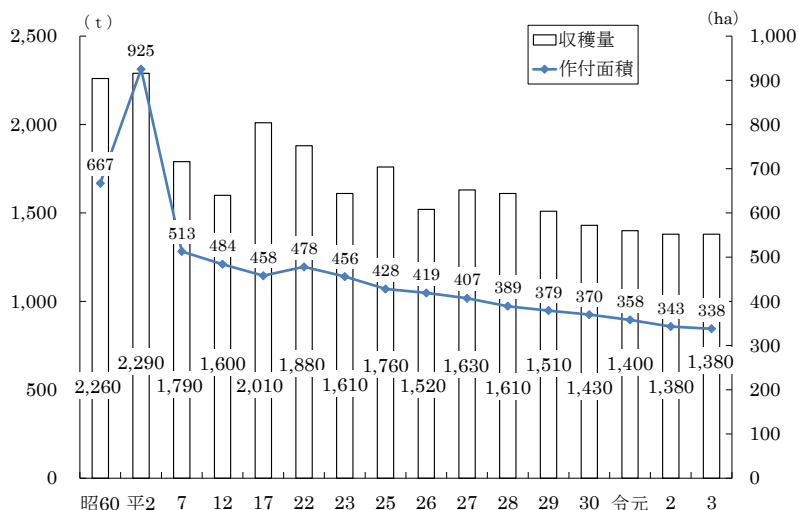
本県の「にら」生産の推移



		にら		
		作付面積 (ha)	収穫量 (t)	出荷量 (t)
福島県	昭60	418	7,430	6,096
	平2	340	6,840	5,530
	7	293	6,270	5,200
	12	245	4,610	3,700
	17	210	3,760	3,160
	22	201	3,580	3,080
	23	186	2,900	2,460
	25	178	3,030	2,600
	26	178	2,780	2,360
	27	172	2,730	2,300
	28	165	2,690	2,260
	29	161	2,660	2,160
	30	158	2,530	2,110
令元	155	2,450	2,030	
2	151	2,550	2,110	
3	150	2,520	2,090	
全国	令3	1,930	56,300	51,500

(資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」)

本県の「アスパラガス」生産の推移

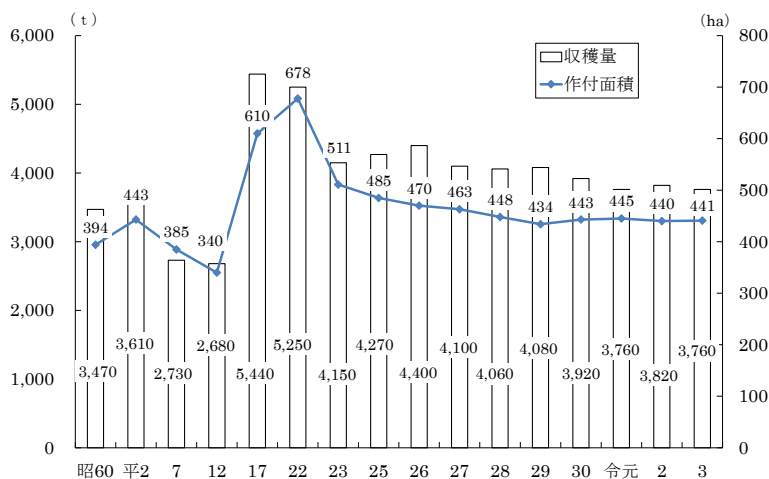


※H.14年以前の作付面積は(収穫面積+株養成面積)

		アスパラガス		
		作付面積 (ha)	収穫量 (t)	出荷量 (t)
福島県	昭60	667	2,260	1,917
	平2	925	2,290	1,990
	7	513	1,790	1,550
	12	484	1,600	1,340
	17	458	2,010	1,740
	22	478	1,880	1,630
	23	456	1,610	1,380
	25	428	1,760	1,540
	26	419	1,520	1,320
	27	407	1,630	1,410
	28	389	1,610	1,430
	29	379	1,510	1,220
	30	370	1,430	1,240
令元	358	1,400	1,210	
2	343	1,380	1,190	
3	338	1,380	1,190	
全国	令3	4,500	25,200	22,400

(資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」)

本県の「ブロッコリー」生産の推移



		ブロッコリー		
		作付面積 (ha)	収穫量 (t)	出荷量 (t)
福島県	昭60	394	3,470	2,593
	平2	443	3,610	3,020
	7	385	2,730	2,150
	12	340	2,680	2,110
	17	610	5,440	4,710
	22	678	5,250	4,590
	23	511	4,150	3,660
	25	485	4,270	3,730
	26	470	4,400	3,850
	27	463	4,100	3,690
	28	448	4,060	3,570
	29	434	4,080	3,570
	30	443	3,920	3,400
令元	445	3,760	3,260	
2	440	3,820	3,320	
3	441	3,760	3,270	
全国	令3	16,900	171,600	155,500

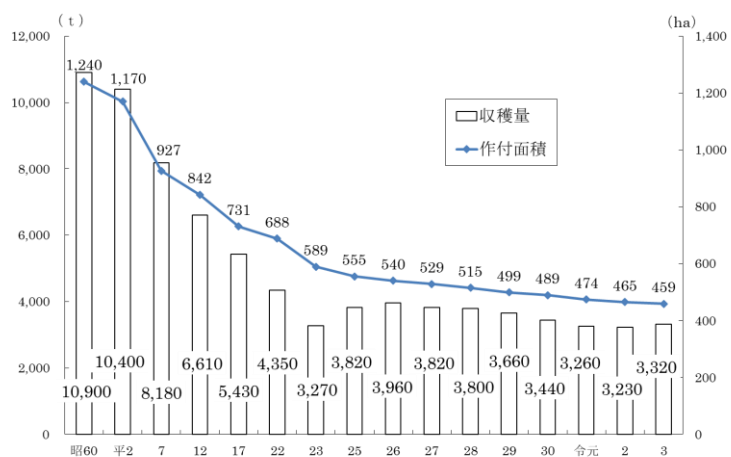
(資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」)

ウ 青果用豆（さやいんげん、さやえんどう）

本県の令和3年産の作付面積はさやいんげん459ha、さやえんどう244ha

さやいんげん、さやえんどうの作付面積は、生産者の高齢化等の影響により前年に比べ減少しています。

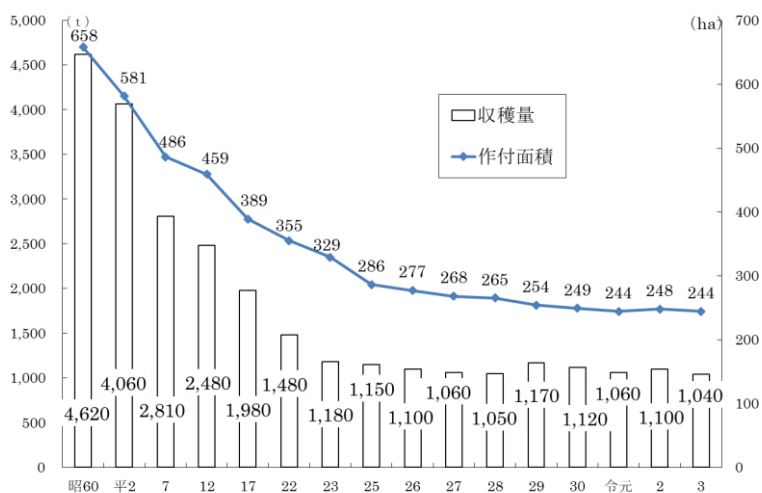
本県の「さやいんげん」生産の推移



		さやいんげん		
		作付面積 (ha)	収穫量 (t)	出荷量 (t)
福島県	昭60	1,240	10,900	7,770
	平2	1,170	10,400	7,270
	7	927	8,180	5,700
	12	842	6,610	4,630
	17	731	5,430	3,830
	22	688	4,350	2,940
	23	589	3,270	2,130
	25	555	3,820	2,630
	26	540	3,960	2,700
	27	529	3,820	2,560
	28	515	3,800	2,570
	29	499	3,660	2,470
	30	489	3,440	2,310
	令元	474	3,260	2,170
2	465	3,230	2,150	
3	459	3,320	2,210	
全国	令3	4,810	36,600	24,400

(資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」)

本県の「さやえんどう」生産の推移



		さやえんどう		
		作付面積 (ha)	収穫量 (t)	出荷量 (t)
福島県	昭60	658	4,620	3,677
	平2	581	4,060	3,140
	7	486	2,810	2,230
	12	459	2,480	1,980
	17	389	1,980	1,590
	22	355	1,480	1,150
	23	329	1,180	883
	25	286	1,150	885
	26	277	1,100	849
	27	268	1,060	832
	28	265	1,050	804
	29	254	1,170	879
	30	249	1,120	871
	令元	244	1,060	819
2	248	1,100	850	
3	244	1,040	804	
全国	令3	2,740	19,800	13,000

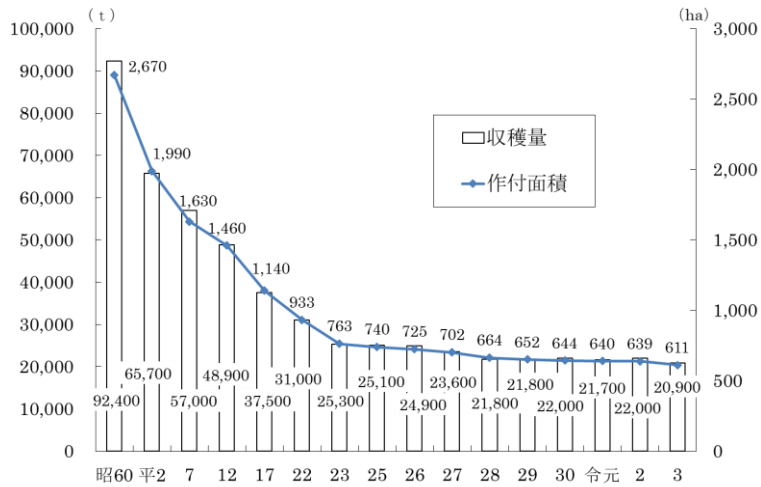
(資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」)

エ 根菜類（だいこん）

本県の令和3年産のだいこんの作付面積は611ha

根菜類（だいこん）は輪作及び土づくりによる既存産地の再編整備並びに機械化体系の推進により、土地利用型野菜として積極的に生産を振興してきましたが、東日本大震災以降、作付面積・収穫量ともに減少傾向です。

本県の「だいこん」生産の推移



		だいこん		
		作付面積 (ha)	収穫量 (t)	出荷量 (t)
福島県	昭60	2,670	92,400	49,577
	平2	1,990	65,700	30,800
	7	1,630	57,000	26,400
	12	1,460	48,900	22,400
	17	1,140	37,500	16,900
	22	933	31,000	12,800
	23	763	25,300	9,220
	25	740	25,100	9,500
	26	725	24,900	9,680
	27	702	23,600	9,090
	28	664	21,800	8,840
	29	652	21,800	8,910
	30	644	22,000	9,100
	令元	640	21,700	8,910
2	639	22,000	9,030	
3	611	20,900	8,580	
全国	令3	29,200	1,251,000	1,033,000

(資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」)

オ 施設栽培

本県の令和2年の野菜栽培における施設栽培延べ面積は684ha

野菜栽培における令和2年の施設栽培延べ面積は684ha、ガラス室・ハウス設置実面積は712haとなっています。

品目別では、トマト・きゅうり・ほうれんそう・アスパラガス・いちごで栽培延べ面積の約81%を占めています。

野菜栽培の施設化は一定程度進行しているものの、生産は依然として夏秋期に集中しており、今後も施設の導入を積極的に図るとともに、①安定生産、気象災害の回避、②高品質・高付加価値生産、③作型分化による生産性の向上、④周年出荷体制の確立等を推進していきます。

野菜の施設栽培延べ面積

(単位: 0.1ha)

		平7	9	11	13	15	17	19	21	24	26	28	30	令2
なす	26	48	25	23	22	28	27	27	34	22	34	24	34	19
トマト	3,559	3,358	3,483	3,480	3,345	3,270	3,145	3,131	2,886	1,972	2,446	2,373	1,903	
きゅうり	2,523	2,605	2,458	2,332	2,364	2,225	2,265	2,064	2,022	3,517	2,228	1,919	2,006	
いちご	1,178	1,248	1,221	1,212	1,153	1,070	1,050	1,068	953	677	580	507	407	
温室メロン	57	60	66	56	41	37	2	5	1					
一般メロン	52	51	40	40	38	27	35	48	52		21	10	7	6
レタス	10	10	3	150	103	139	146	147	135	7	6	50	166	
にら	1,356	1,300	1,285	1,037	1,022	976	830	802	816	274	506	446	388	
さやえんどう	30	23	23	34	18	22	26	29	27	19	72	92	—	
ほうれんそう	1,474	1,293	1,111	1,014	994	931	992	992	824	702	798	510	698	
しゅんぎく	664	628	615	594	549	380	378	405	212	130	184	228	166	
アスパラガス	652	613	635	578	571	527	310	342	339	675	771	651	527	
さやいんげん	56	35	52	71	56	77	70	87	71	131	148	132	26	
かぶ	97	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
みつば	39	—	—	—	—	81	—	—	—	—	—	—	—	
こまつな	—	35	—	—	—	—	—	71	29	—	—	—	81	
その他	327	508	841	987	765	1,241	914	675	765	762	401	288	448	
計	12,100	11,815	11,858	11,608	11,041	11,031	10,190	9,900	9,154	8,921	8,174	7,237	6,841	

※平成26年より「温室メロン」と「一般メロン」を区分せず調査している。

野菜のガラス室・ハウス設置実面積

(単位: 0.1ha)

		平7	9	11	13	15	17	19	21	24	26	28	30	令2
ガラス室	58	92	150	149	161	379	369	315	327	141	416	385	393	
鉄骨ハウス	939	944	807	1,011	927	931	834	705	661	485	271	286	372	
パイプハウス	8,520	8,615	8,854	8,288	8,097	7,347	7,250	7,226	6,899	6,168	6,742	6,514	6,357	
計	9,517	9,651	9,811	9,448	9,185	8,657	8,453	8,246	7,887	6,794	7,429	7,186	7,122	

(県園芸課調べ)

カ 主要野菜の流通について

東京都中央卸売市場（夏秋期）における令和4年産の本県主要野菜（きゅうり、トマト、アスパラガス）の入荷量等の動向は、次のとおりとなっています。

(ア) 夏秋きゅうり

本県産の夏秋きゅうり（7～10月）の入荷量は9,139tで、前年に比べ82t（0.9%）の減少となりました。期間中の占有率は33.5%で、前年に比べ1.4ポイント上回っています。また、期間中の入荷量は、前年に引き続き本県が全国第1位で、第2位の群馬県（入荷量：3,750t、占有率：13.8%）を大きく引き離し、以下、岩手県、埼玉県、秋田県の順となっています。期間平均の卸売価格は301円で、前年より15円（5.2%）高で、全産地の期間平均価格の297円より4円高となっています。

(イ) 夏秋トマト

本県産の夏秋トマト（7～10月）の入荷量は3,264tで、前年に比べ173t（5.0%）の減少となりました。期間中の占有率は12.6%で、前年に比べ0.3ポイント上回っています。また、期間中の入荷量は、全国第1位が北海道（入荷量：5,032t、占有率：19.5%）、第2位が本県、以下、千葉県、青森県、群馬県の順となっています。期間平均の卸売価格は445円で、前年より52円（13.2%）高、全産地の期間平均価格の424円に比べると21円高となっています。

(ウ) アスパラガス

本県産のアスパラガス（5～9月）の入荷量は141tで、前年に比べ17t（13.7%）の増加となりました。期間中の占有率は5.8%で、前年と比べ0.9ポイント上回っています。また、期間中の入荷量は、全国第1位が栃木県（入荷量：516t、占有率：21.1%）、第2位が佐賀県、第3位が長崎県、次いで山形県、秋田県、北海道、本県の順となっています。期間平均の卸売価格は1,151円で、前年より100円（8.0%）安、全産地の期間平均価格の1,165円と比べ14円安となっています。

東京都中央卸売市場における県産野菜の入荷量、占有率、卸売価格の推移（夏秋期）（単位：t、%、円/kg）

		7月			8月			9月			10月			期間中合計／平均					
		入荷量	占有率	卸売価格	入荷量	占有率	卸売価格	入荷量	占有率	卸売価格	入荷量	占有率	卸売価格	入荷量	占有率	卸売価格			
きゅうり	平23	3,147	40.2	270	3,674	44.5	227	2,155	29.2	314	766	12.4	268	9,742	32.8	263			
	27	3,000	40.9	281	3,377	41.4	304	1,935	28.1	398	925	14.0	242	9,237	31.9	310			
	28	2,591	37.7	335	3,856	42.5	218	2,153	28.2	321	584	11.0	449	9,184	31.8	290			
	29	2,905	40.0	264	3,338	43.2	320	2,109	27.0	311	790	14.5	282	9,143	32.3	297			
	30	3,055	40.8	384	3,285	42.9	396	1,946	28.8	424	822	14.2	393	9,109	32.9	398			
	令元	2,506	38.0	341	3,410	40.7	307	1,969	24.8	357	842	13.8	287	8,727	30.1	326			
	2	2,681	40.5	404	3,677	42.5	391	2,067	28.9	356	725	13.2	402	9,151	32.7	388			
	3	3,351	41.0	220	3,391	42.7	312	1,688	24.8	397	791	13.7	222	9,221	32.1	286			
4	2,739	40.6	294	3,547	45.9	298	2,210	29.0	303	643	12.5	341	9,139	33.5	301				
トマト	平23	642	8.0	320	1,427	15.6	309	968	11.8	350	530	9.0	398	3,567	11.4	335			
	27	779	8.7	254	1,464	16.3	265	980	14.7	436	658	10.5	453	3,882	12.6	338			
	28	563	7.2	309	1,802	16.9	237	1,501	17.5	331	894	15.5	492	4,759	14.5	323			
	29	490	5.6	249	1,309	15.8	308	1,116	15.4	425	929	15.0	381	3,845	12.6	352			
	30	511	6.3	322	1,286	17.2	414	912	14.1	493	746	12.8	445	3,455	12.4	428			
	令元	342	4.7	304	1,584	16.8	223	1,008	15.9	426	854	14.3	414	3,788	13.1	327			
	2	470	6.8	362	1,490	17.2	325	1,023	14.6	361	614	12.5	548	3,597	13.1	378			
	3	478	6.0	347	1,465	17.9	329	867	14.7	510	627	10.8	418	3,437	12.3	393			
4	390	5.6	375	1,311	17.6	396	971	15.2	485	594	11.7	535	3,264	12.6	445				
アスパラガス	平23	187	23.9	1,057	60	7.4	995	97	15.6	881	182	24.3	518	87	17.2	605	612	17.7	799
	27	203	22.2	1,034	35	5.2	1,097	87	12.3	858	121	16.5	743	44	9.3	937	489	14.0	927
	28	161	16.7	1,145	29	4.3	1,245	77	11.3	1,011	119	15.7	798	81	13.6	880	469	12.7	995
	29	109	14.1	1,409	29	5.4	1,477	52	6.8	878	78	11.1	794	30	7.0	1,089	298	9.3	1,130
	30	83	11.4	1,464	24	4.1	1,360	49	7.2	1,057	54	8.3	979	52	10.4	964	262	8.4	1,178
	令元	92	14.1	1,396	30	5.4	1,395	46	6.1	1,004	55	7.7	775	39	9.3	876	262	8.4	1,119
	2	58	9.5	1,329	21	3.3	1,215	37	5.9	1,132	49	8.7	991	27	7.3	986	192	6.9	1,145
	3	36	7.1	1,824	11	2.2	1,448	29	4.6	1,023	35	6.2	867	13	4.0	1,059	124	4.9	1,251
4	40	7.4	1,632	11	2.1	1,372	25	4.4	948	41	8.2	820	25	7.6	1,024	141	5.8	1,151	

※小数点以下の端数処理のため、合計値が合わないことがある。

（資料：「東京都中央卸売市場月報」）



(4) 果樹

本県の令和4年産主要果樹栽培面積は5,089ha

令和4年産の主要果樹は、前年に比べて栽培面積が58ha（1.1%）減の5,089ha、収穫量が12,730t（19.7%）増の7万7,470t、出荷量が11,890t（20.4%）増の7万140tとなっています。

品目別の収穫量は、前年と比較して、日本なしが3,300t（27.7%）増の1万5,200t、りんごが5,100t（27.4%）増の2万3,700tとなっています。

本県の令和4年産主要果樹の栽培面積、収穫量及び出荷量

区分	栽培面積 (ha)	収穫量 (t)	出荷量 (t)	前年対比 (%)		
				栽培面積	収穫量	出荷量
計	5,089	77,470	70,140	98.9	119.7	120.4
もも	1,760	27,700	25,700	100.0	114.0	114.2
日本なし	825	15,200	14,100	99.3	127.7	128.2
りんご	1,210	23,700	21,000	98.4	127.4	129.6
ぶどう	297	2,440	2,190	100.3	95.7	95.2
かき	997	8,430	7,150	96.8	114.1	114.4

(資料：農林水産省「果樹生産出荷統計」)

ア もも

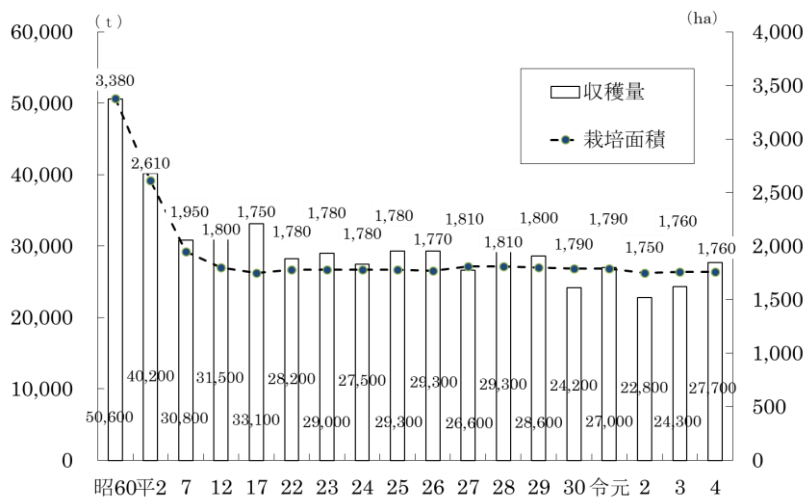
本県の令和4年産の栽培面積は1,760ha、収穫量は2万7,700t

令和4年産のももの栽培面積は前年と同じ1,760ha、収穫量は前年より3,400t増の2万7,700tとなっています。

全国の令和4年産の収穫量は11万6,900tで、本県は山梨県（全国シェア31%）に次いで、全国第2位（同24%）となっています。

生産性の向上対策として改植を推進しているほか、他産地との競合や市場性を考慮し、「あかつき」中心の品種構成の中、晩生種や、早生、中晩生種の導入比率を高め、高品質化と出荷時期の拡大を進めています。

本県の「もも」生産の推移



		もも			
		栽培面積 (ha)	収穫量 (t)	出荷量 (t)	
福島県	昭60	3,380	50,600	48,256	
	平2	2,610	40,200	37,600	
	7	1,950	30,800	28,800	
	12	1,800	31,500	29,400	
	17	1,750	33,100	30,600	
	22	1,780	28,200	26,200	
	23	1,780	29,000	26,500	
	24	1,780	27,500	25,200	
	25	1,780	29,300	27,100	
	26	1,770	29,300	27,000	
	27	1,810	26,600	24,500	
	28	1,810	29,300	27,000	
	29	1,800	28,600	26,500	
	30	1,790	24,200	22,500	
	令和元	1,790	27,000	24,900	
	2	1,750	22,800	21,000	
	3	1,760	24,300	22,500	
	4	1,760	27,700	25,700	
	全国	令和4	9,990	116,900	108,200

(資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」「果樹生産出荷統計」)

主要県における「もも」生産状況（令和4年産）

順位	県名	栽培面積		収穫量 (t)	出荷量 (t)
		面積 (ha)	結果樹 面積		
	全国	9,990	9,310	116,900	108,200
1	山梨	3,340	3,100	35,700	33,700
2	福島	1,760	1,550	27,700	25,700
3	長野	948	939	12,000	11,400
4	山形	687	632	9,800	8,970
5	和歌山	713	703	8,010	7,340

※順位は収穫量を基準とした。(資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」「果樹生産出荷統計」)

イ 日本なし

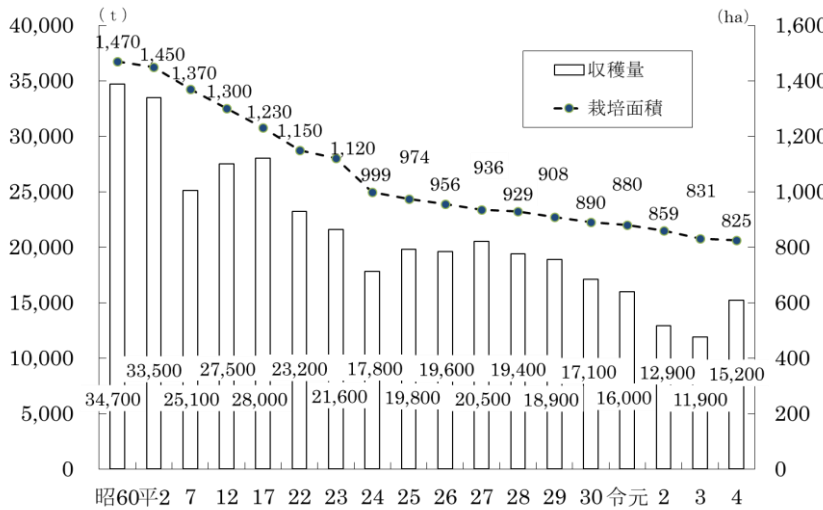
本県の令和4年産の栽培面積は825ha、収穫量は1万5,200t

令和4年産の日本なしの栽培面積は、前年と比べて6ha減の825ha、収穫量は3,300t増の1万5,200t、出荷量は3,100t増の1万4,100tとなっています。

全国の令和4年産の収穫量は19万6,500tで、上位各県のシェアは千葉県が10%、茨城県が9%となっており、本県は8%で全国第4位となっています。

本県では、「幸水」、「豊水」への偏重を回避し、バランスのとれた品種構成にするため、晩生種等を導入するとともに、早期成園化を図るジョイント栽培技術の導入を進めています。

本県の「日本なし」生産の推移



		日本なし		
		栽培面積 (ha)	収穫量 (t)	出荷量 (t)
福島県	昭60	1,470	34,700	32,733
	平2	1,450	33,500	30,700
	7	1,370	25,100	22,500
	12	1,300	27,500	24,900
	17	1,230	28,000	25,900
	22	1,150	23,200	21,500
	23	1,120	21,600	20,000
	24	999	17,800	16,400
	25	974	19,800	18,300
	26	956	19,600	18,200
	27	936	20,500	19,000
	28	929	19,400	18,000
	29	908	18,900	17,500
	30	890	17,100	15,900
	令元	880	16,000	14,800
	2	859	12,900	11,900
	3	831	11,900	11,000
4	825	15,200	14,100	
全国	令4	10,400	196,500	183,800

(資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」「果樹生産出荷統計」)

主要県における「日本なし」の生産状況（令和4年産）

順位	県名	栽培面積 (ha)		収穫量 (t)	出荷量 (t)
		結果樹面積	結果樹面積		
	全国	10,400	10,100	196,500	183,800
1	千葉県	1,320	1,260	19,200	18,900
2	茨城県	882	864	17,800	16,500
3	栃木県	724	718	17,000	16,000
4	福島県	825	788	15,200	14,100
5	長野県	616	614	13,000	12,500

※順位は収穫量を基準とした。

(資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」「果樹生産出荷統計」)

ウ りんご

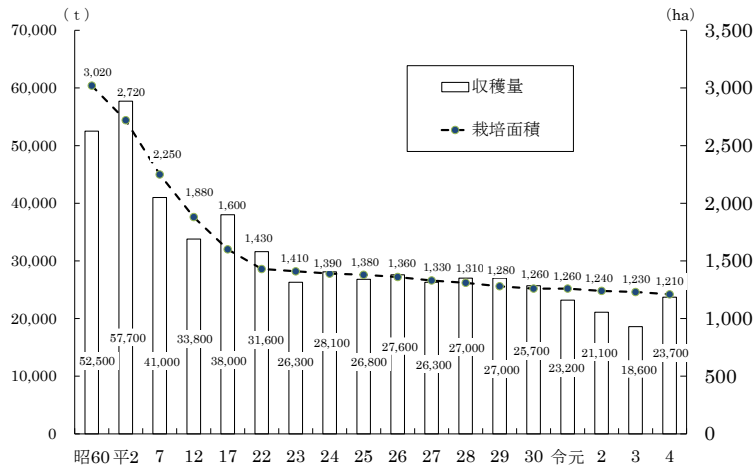
本県の令和4年産の栽培面積は1,210ha、収穫量は2万3,700t

令和4年産のりんごの栽培面積は前年に比べて20ha減の1,210ha、収穫量は5,100t増の2万3,700t、出荷量は4,800t増の2万1,000tとなっています。

全国の令和4年産の収穫量は73万7,100tで、上位各県のシェアは青森県60%、長野県18%、岩手県6%、山形県6%、本県は3%で全国5位となっています。

他県の主産地より早く出荷できる有利性を生かすため、普通系「ふじ」偏重から中生種や着色の良好な品種への更新を進めています。

本県の「りんご」生産の推移



		りんご		
		栽培面積 (ha)	収穫量 (t)	出荷量 (t)
福島県	昭60	3,020	52,500	48,122
	平2	2,720	57,700	52,500
	7	2,250	41,000	37,200
	12	1,880	33,800	30,800
	17	1,600	38,000	34,100
	22	1,430	31,600	28,100
	23	1,410	26,300	23,000
	24	1,390	28,100	24,700
	25	1,380	26,800	23,500
	26	1,360	27,600	24,300
	27	1,330	26,300	23,100
	28	1,310	27,000	23,700
	29	1,280	27,000	23,600
30	1,260	25,700	22,400	
令元	1,260	23,200	20,200	
2	1,240	21,100	18,300	
3	1,230	18,600	16,200	
4	1,210	23,700	21,000	
全国	令4	36,300	737,100	669,800

(資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」「果樹生産出荷統計」)

主要県における「りんご」の生産状況 (令和4年産)

順位	県名	栽培面積		収穫量 (t)	出荷量 (t)
		面積 (ha)	結果樹面積		
	全国	36,300	35,100	737,100	669,800
1	青森	20,300	19,600	439,000	398,600
2	長野	7,120	6,870	132,600	124,200
3	岩手	2,330	2,250	47,900	41,500
4	山形	2,120	2,070	41,200	36,500
5	福島	1,210	1,160	23,700	21,000

※順位は収穫量を基準とした。

(資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」「果樹生産出荷統計」)

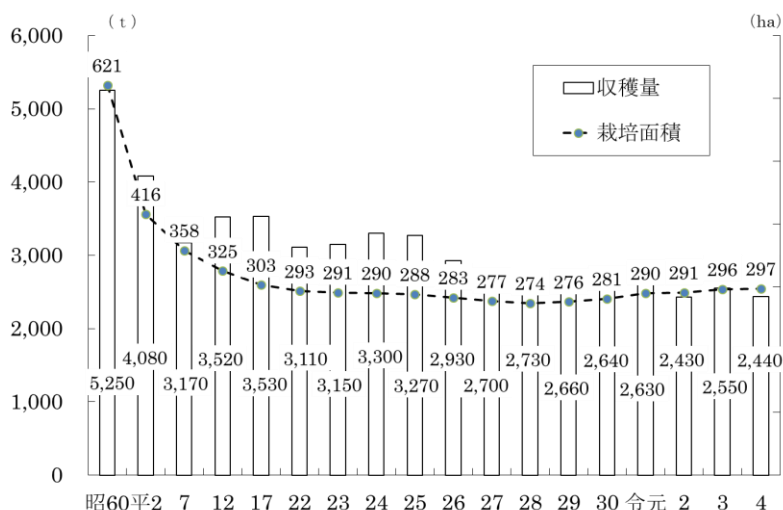
エ ぶどう

本県の令和4年産の栽培面積は297ha、収穫量は2,440 t

令和4年産のぶどうの栽培面積は前年と比べて1ha増の297ha、収穫量は110 t減の2,440 t、出荷量は110 t減の2,190 tとなっています。全国の令和4年産の収穫量は16万2,600 tで、上位各県のシェアは山梨県が25%、長野県が18%、岡山県が9%などとなっており、本県は1.5%で全国第12位となっています。

市場評価の高い「シャインマスカット」等の大粒品種への更新、雨除け施設における高位安定生産技術の普及により、生産性の向上を図るとともに、県オリジナル品種「あづましずく」の導入を推進しています。

本県の「ぶどう」生産の推移



		ぶ ど う		
		栽 培 面 積 (ha)	収 穫 量 (t)	出 荷 量 (t)
福 島 県	昭60	621	5,250	4,899
	平2	416	4,080	3,730
	7	358	3,170	2,870
	12	325	3,520	3,200
	17	303	3,530	3,190
	22	293	3,110	2,780
	23	291	3,150	2,830
	24	290	3,300	2,990
	25	288	3,270	2,960
	26	283	2,930	2,650
	27	277	2,700	2,410
	28	274	2,730	2,440
	29	276	2,660	2,380
	30	281	2,640	2,360
	令元	290	2,630	2,370
	2	291	2,430	2,190
3	296	2,550	2,300	
4	297	2,440	2,190	
全国	令4	17,700	162,600	152,400

(資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」「果樹生産出荷統計」)

主要県における「ぶどう」の生産状況 (令和4年産)

順 位	県 名	栽 培 面 積 (ha)		収 穫 量 (t)	出 荷 量 (t)
		面 積	結 果 樹 面 積		
	全 国	17,700	16,400	162,600	152,400
1	山 梨	4,050	3,780	40,800	39,500
2	長 野	2,690	2,450	28,900	27,200
3	岡 山	1,230	1,150	14,600	13,300
4	山 形	1,510	1,430	14,000	12,600
5	福 岡	698	676	7,170	6,840
12	福 島	297	277	2,440	2,190

※順位は収穫量を基準とした。

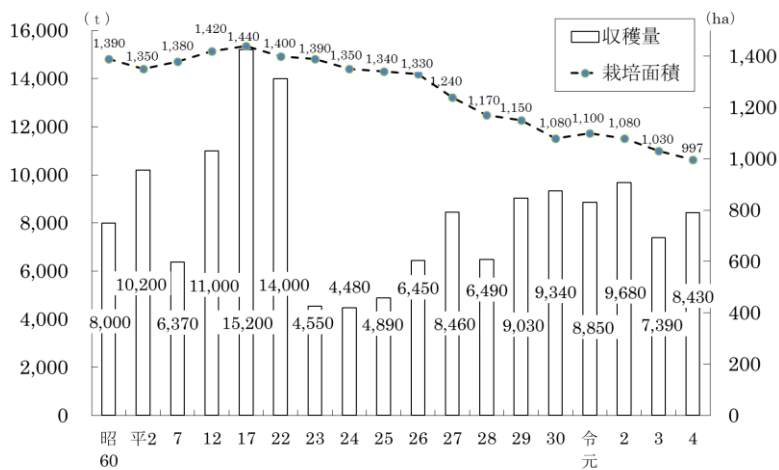
(資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」「果樹生産出荷統計」)

オ かき

本県の令和4年産の栽培面積は997ha、収穫量は8,430t

令和4年産のかきの栽培面積は前年に比べて33ha減の997ha、収穫量は1,040t増の8,430t、出荷量は900t増の7,150tとなっています。全国の令和4年産の収穫量は21万6,100tで、上位各県のシェアは和歌山県19%、奈良県14%、福岡県8%などとなっており、本県は4%で第8位となっています。

本県の「かき」生産の推移



		かき		
		栽培面積 (ha)	収穫量 (t)	出荷量 (t)
福島県	昭60	1,390	8,000	6,013
	平2	1,350	10,200	8,270
	7	1,380	6,370	4,960
	12	1,420	11,000	8,670
	17	1,440	15,200	12,600
	22	1,400	14,000	12,000
	23	1,390	4,550	3,540
	24	1,350	4,480	3,390
	25	1,340	4,890	3,790
	26	1,330	6,450	5,150
	27	1,240	8,460	6,980
	28	1,170	6,490	5,500
	29	1,150	9,030	7,510
	30	1,080	9,340	7,900
令元	1,100	8,850	7,490	
2	1,080	9,680	8,190	
3	1,030	7,390	6,250	
4	997	8,430	7,150	
全国	令4	18,300	216,100	185,900

(資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」「果樹生産出荷統計」)

主要県における「かき」の生産状況 (令和4年産)

順位	県名	栽培面積 (ha)		収穫量 (t)	出荷量 (t)
		面積	結果樹面積		
	全国	18,300	17,800	216,100	185,900
1	和歌山	2,500	2,470	42,000	37,900
2	奈良	1,800	1,780	29,500	27,400
3	福岡	1,160	1,120	17,700	16,100
4	岐阜	1,220	1,210	16,200	14,600
5	愛知	997	959	15,200	13,200
8	福島	997	940	8,430	7,150

※順位は収穫量を基準とした。

(資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」「果樹生産出荷統計」)

カ 主要果実の流通について

東京都中央卸売市場（8～11月）における令和4年産の本県主要果実（もも、なし、りんご）の入荷量等の動向は、次のとおりとなっています。

(ア) もも

本県産のもも入荷量（8～11月）は3,151tで、前年に比べ1,217t（62.9%）の増加となり、期間中の占有率は43.8%で、前年を4.5ポイント上回っています。また、期間中に入荷量では、全国第1位が本県で、第2位が山梨県（入荷量1,399t、占有率19.4%）、以下、山形県、長野県の順となっています。

期間平均の卸売価格は604円で、前年より75円（11.0%）安、全産地の期間平均価格の608円に比べると4円安となっています。

(イ) なし（「幸水」）

本県産のなし（「幸水」）入荷量（8～11月）は980tで、前年に比べ300t（44.1%）の増加となり、期間中の占有率は14.3%で、前年を1.0ポイント上回っています。また、期間中に入荷量では、第1位が栃木県（入荷量1,773t、占有率25.9%）で、以下、茨城県、千葉県、本県の順となっています。

期間平均の卸売価格は343円で、前年より92円（21.1%）安、全産地の期間平均価格の470円に比べると127円安となっています。

(ウ) りんご（「ふじ」）

本県産のりんご（「ふじ」）入荷量（8～11月）は101tで、前年に比べ33t（24.6%）の減少となり、期間中の占有率は2.2%で、前年を0.7ポイント下回っています。また、期間中に入荷量では、第1位は青森県（入荷量1,633t、占有率：35.6%）、第2位は山形県、第3位は長野県、以下、岩手県、本県の順となっています。

期間平均の卸売価格は263円で、前年よりも40円（13.2%）安、全産地の期間平均364円と比べると101円安となっています。

東京都中央卸売市場における県産果実の入荷量、占有率、卸売価格の推移

（単位：t、%、円/kg）

		8月			9月			10月			11月			期間中合計／平均		
		入荷量	占有率	卸売価格	入荷量	占有率	卸売価格	入荷量	占有率	卸売価格	入荷量	占有率	卸売価格	入荷量	占有率	卸売価格
もも	平22	2,421	42.5	439	868	41.9	481	20	27.4	526	—	—	—	3,309	42.2	450
	25	3,916	61.5	342	622	36.7	421	36	38.0	456	—	—	—	4,574	56.0	353
	26	3,313	52.2	359	603	34.6	414	26	30.4	449	—	—	—	3,893	49.6	368
	27	2,470	54.8	474	351	29.2	428	6	18.1	484	—	—	—	2,826	49.3	469
	28	3,023	55.4	385	376	34.1	456	10	51.6	504	—	—	—	3,409	51.8	393
	29	3,553	54.2	404	622	36.2	431	21	36.9	476	0.1	15.2	1,555	4,196	50.4	408
	30	2,289	52.6	502	511	41.5	520	24	63.8	522	—	—	—	2,825	50.3	505
	令元	2,851	54.8	493	622	38.6	536	52	48.7	544	—	—	—	3,525	51.0	501
	2	1,760	47.0	620	263	29.3	777	13	26.6	789	—	—	—	2,036	43.4	642
	3	1,693	43.5	673	236	23.3	713	5	32.7	772	—	—	—	1,934	39.3	679
	4	2,561	45.8	600	572	36.5	623	17	48.7	644	0.0	—	448	3,151	43.8	604
なし「幸水」	平22	136	2.1	354	1,719	44.8	343	—	—	—	—	—	—	1,855	18.1	343
	25	628	7.9	230	1,295	67.5	206	0.0	11.6	191	—	—	—	1,924	19.4	214
	26	556	7.6	291	1,028	54.4	263	6.0	99.2	257	—	—	—	1,590	17.2	273
	27	1,178	15.6	326	540	58.2	229	0.8	78.5	180	—	—	—	1,719	20.3	295
	28	1,043	12.9	245	536	67.2	219	—	—	—	—	—	—	1,579	17.8	236
	29	420	6.1	280	1,030	44.1	242	0.8	26.9	270	0.5	49.5	160	1,451	15.7	253
	30	941	12.3	273	289	64.4	243	—	—	—	0.3	100	280	1,230	15.2	266
	令元	524	7.8	329	457	39.5	315	2.0	61.1	216	0.0	100	270	983	12.4	322
	2	516	10.2	482	187	47.6	454	—	—	—	—	—	—	704	13.0	474
	3	575	11.8	455	105	43.8	328	0.2	21.9	54	—	—	—	680	13.3	435
	4	463	8.3	378	517	40.5	311	—	—	—	0.0	—	194	980	14.3	343
りんご「ふじ」	平22	—	—	—	0	2.0	116	14	0.8	269	189	3.1	209	203	2.4	213
	25	—	—	—	1	0.9	244	4	1.9	276	332	6.6	192	336	5.2	193
	26	—	—	—	0.4	2.8	234	9	3.0	236	374	6.7	189	383	5.7	190
	27	1.0	0.2	528	0.5	1.2	316	16	4.1	246	327	6.5	196	344	5.7	199
	28	—	—	—	—	—	—	5	1.8	306	402	8.7	224	407	7.2	225
	29	—	—	—	0.4	1.6	328	6	2.9	300	355	7.3	220	362	6.0	221
	30	—	—	—	—	—	—	3	2.1	322	215	5.4	225	217	4.7	226
	令元	—	—	—	1.4	12.7	330	4	2.4	280	238	5.6	230	243	4.8	232
	2	—	—	—	1.0	8.0	361	7	3.8	307	212	5.1	232	220	4.7	235
	3	—	—	—	—	—	—	0	0.3	356	134	3.6	303	134	2.9	303
	4	—	—	—	—	—	—	1	0.9	321	100	2.7	263	101	2.2	263

※小数点以下の端数処理のため、合計値が合わないことがある。

（資料：「東京都中央卸売市場月報」）

(5) 花き

本県の令和3年産の花き作付面積は393ha

本県では、広大な県土と浜通りから会津地方までの豊かな自然環境、さらには京浜・仙台等の大消費地を近くに控えた立地条件を活かしながら、切花類、枝物類、鉢物類等が生産されています。

令和3年の花きの作付面積は、高齢化等の影響で前年と比べて18ha（4.4%）減の393haとなっています。

本県の「花き」作付け面積の推移

(単位：ha)

		22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	3
切花類	きく	121	117	121	114	106	103	94	87	85	81	81	77
	宿根かすみそう	57	49	49	47	47	40	49	48	41	42	39	40
	りんどう	39	28	28	28	29	29	29	32	27	26	23	20
	トルコギキョウ	32	20	19	19	21	21	21	21	20	21	20	18
	枝物類	180	175	155	166	161	150	147	136	147	151	115	126
	その他	111	90	94	86	83	78	75	69	68	74	87	71
	切花類 計	540	479	466	460	447	421	415	393	388	395	365	352
鉢物類	33	27	28	28	28	28	28	26	26	28	29	23	
花壇用苗物	16	6	8	9	8	8	8	7	7	5	5	9	
球根類	1	0	0	0	0	0	0	3	0	2	2	0	
芝類	11	11	11	10	10	10	12	13	13	12	10	9	
合計	601	523	513	507	493	467	463	442	434	428	411	393	

※小数点以下の端数処理のため、合計値が合わないことがある。

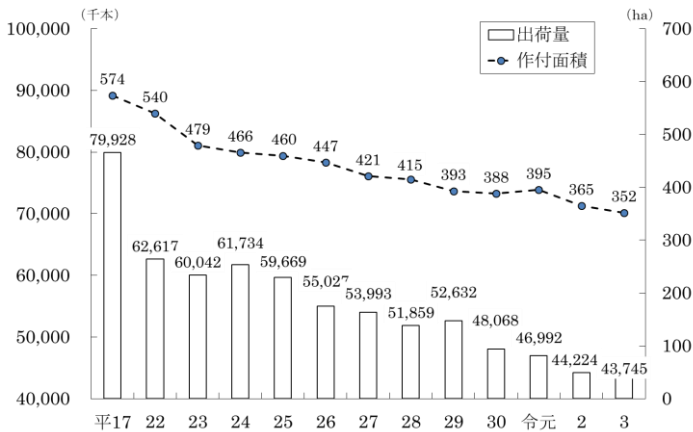
(県園芸課調べ)

ア 切花類

本県の令和3年における切花類の作付面積は352ha、出荷量は43,745千本

品目別では、きく、宿根かすみそう、りんどう等の作付けが多く、これら3品目で切花類全体の作付面積の約39%を占めています。近年の洋花志向を反映し、トルコギキョウ、カラー等の品目についても、本県農業の主要な部分を担う主力品目として積極的に生産拡大を推進しています。

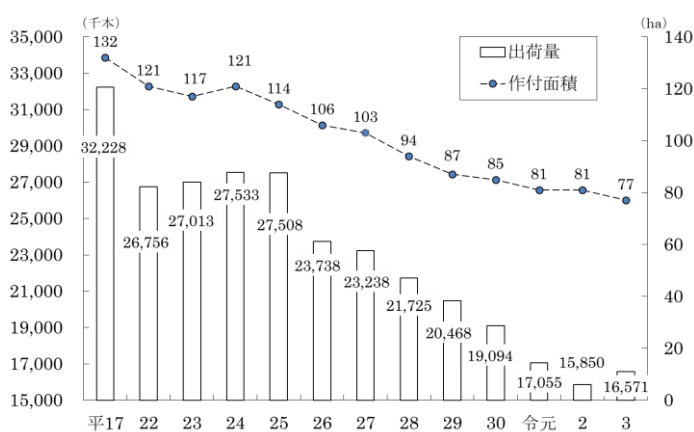
本県の「切花類」生産の推移



		切花類	
		作付面積 (ha)	出荷量 (千本)
福島県	平17	574	79,928
	22	540	62,617
	23	479	60,042
	24	466	61,734
	25	460	59,669
	26	447	55,027
	27	421	53,993
	28	415	51,859
	29	393	52,632
	30	388	48,068
	令和元	395	46,992
	2	365	44,224
	3	352	43,745

(県園芸課調べ)

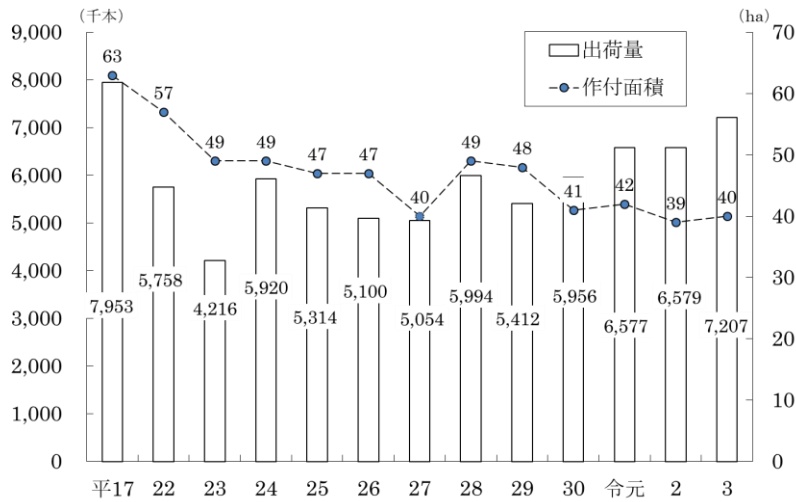
本県の「きく」生産の推移



		きく	
		作付面積 (ha)	出荷量 (千本)
福島県	平17	132	32,228
	22	121	26,756
	23	117	27,013
	24	121	27,533
	25	114	27,508
	26	106	23,738
	27	103	23,238
	28	94	21,725
	29	87	20,468
	30	85	19,094
	令和元	81	17,055
	2	81	15,850
	3	77	16,571

(県園芸課調べ)

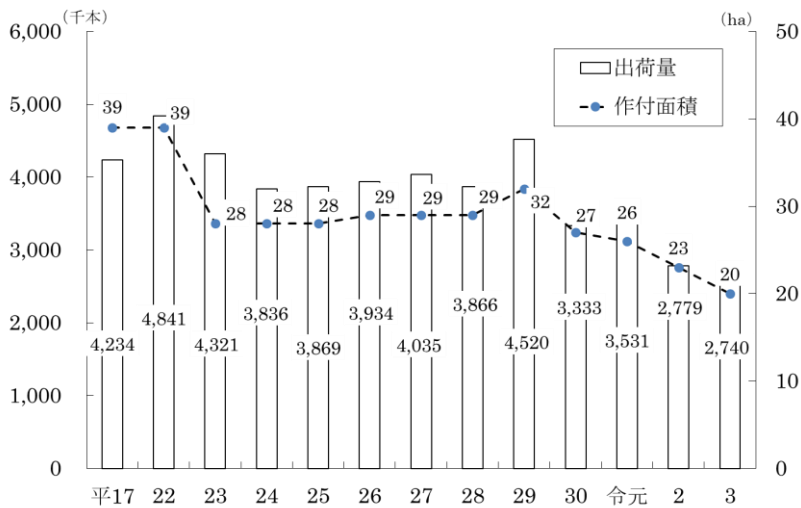
本県の「宿根かすみそう」生産の推移



		宿根かすみそう	
		作付面積 (ha)	出荷量 (千本)
福島県	平17	63	7,953
	22	57	5,758
	23	49	4,216
	24	49	5,920
	25	47	5,314
	26	47	5,100
	27	40	5,054
	28	49	5,994
	29	48	5,412
	30	41	5,956
	令和元	42	6,577
	2	39	6,579
	3	40	7,207

(県園芸課調べ)

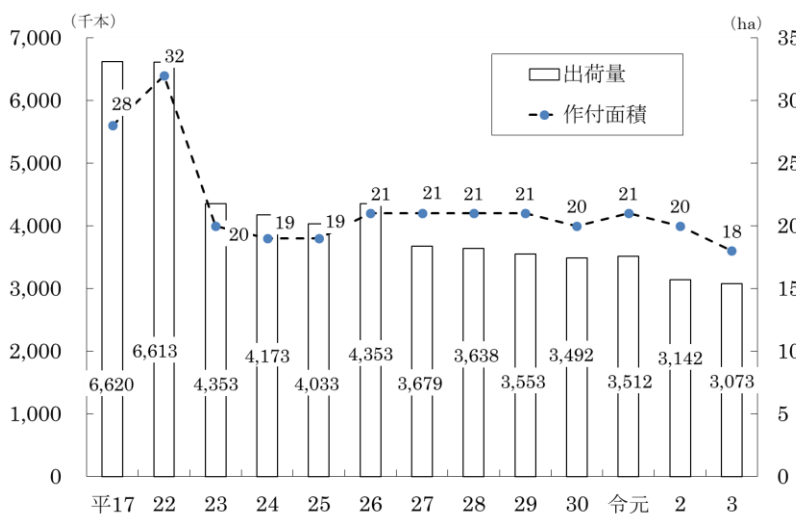
本県の「りんどう」の生産の推移



		りんどう	
		作付面積 (ha)	出荷量 (千本)
福島県	平17	39	4,234
	22	39	4,841
	23	28	4,321
	24	28	3,836
	25	28	3,869
	26	29	3,934
	27	29	4,035
	28	29	3,866
	29	32	4,520
	30	27	3,333
	令和元	26	3,531
	2	23	2,779
	3	20	2,740

(県園芸課調べ)

本県の「トルコギキョウ」生産の推移



		トルコギキョウ	
		作付面積 (ha)	出荷量 (千本)
福島県	平17	28	6,620
	22	32	6,613
	23	20	4,353
	24	19	4,173
	25	19	4,033
	26	21	4,353
	27	21	3,679
	28	21	3,638
	29	21	3,553
	30	20	3,492
	令和元	21	3,512
	2	20	3,142
	3	18	3,073

(県園芸課調べ)



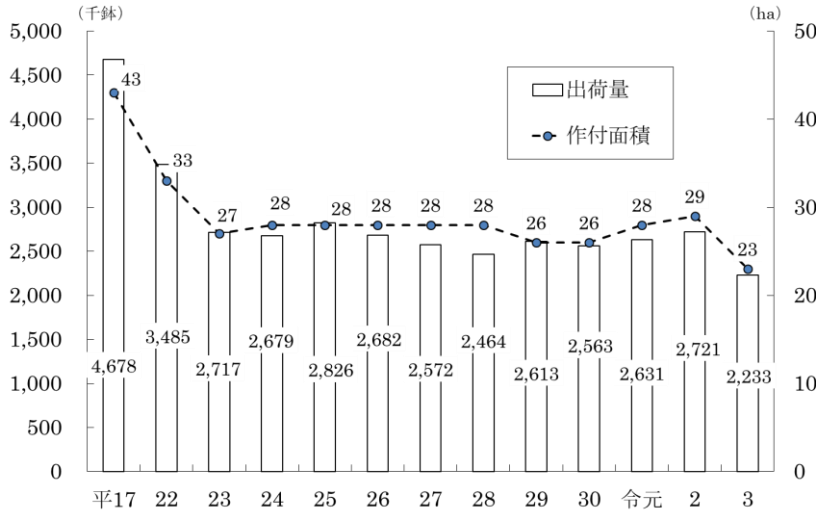
イ 鉢物類

本県の令和3年における鉢物類の作付面積は23ha、出荷量は223万鉢

栽培されている主要品目は、シクラメン、カーネーション、プリムラ類などで、農家の経営形態に合わせ、各品目を組み合わせた生産が行われています。

近年、鉢物類は種類が多様化するとともに、増加していた需要が減少傾向にあることから、消費者ニーズに対応した経営感覚が要求されるとともに、生産コスト低減を図るための省力生産体制の整備が重要となっています。

本県の「鉢物類」生産の推移



		鉢物類	
		作付面積 (ha)	出荷量 (千鉢)
福島県	平17	43	4,678
	22	33	3,485
	23	27	2,717
	24	28	2,679
	25	28	2,826
	26	28	2,682
	27	28	2,572
	28	28	2,464
	29	26	2,613
	30	26	2,563
	令元	28	2,631
	2	29	2,721
	3	23	2,233

(県園芸課調べ)

ウ 施設栽培

令和2年の花きの施設延べ面積は152haで、品目別では切花類が82%を占めています。

本県の花きの施設栽培延べ面積

(単位：0.1ha)

		平7	9	11	13	15	17	19	21	24	26	28	30	令2
切花類	きく	178	156	291	180	141	164	150	171	122	98	83	114	73
	カーネーション	71	53	50	38	35	13	16	24	12	3	4	4	4
	ばら	49	49	63	50	53	35	35	36	36	6	7	9	4
	ゆり(切花)	46	53	53	82	84	88	49	50	49	8	9	15	146
	ストック	133	81	125	113	127	112	134	142	-	-	-	-	-
	その他	1,047	1,350	1,261	728	1,304	1,249	1,667	1,612	1,452	813	686	701	1,023
小計		1,524	1,742	1,843	1,919	1,744	1,661	2,051	2,035	1,671	928	789	843	1,250
鉢物類		261	216	333	309	311	358	320	345	285	253	347	224	269
合計		1,785	1,958	2,176	2,228	2,055	2,019	2,371	2,380	1,956	1,181	1,136	1,067	1,519

(県園芸課調べ)

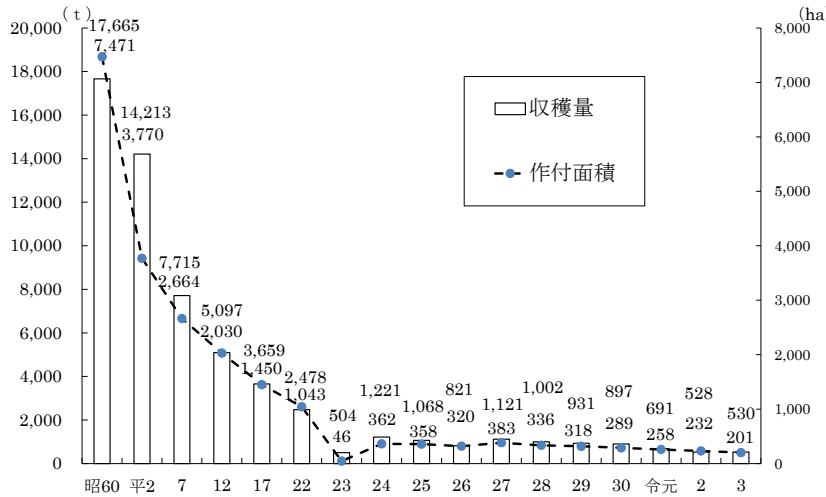
(6) 工芸農作物

本県の令和3年の作付面積は201ha、収穫量は530t

主要な工芸農作物である葉たばこ、こんにゃくいも、おたねにんじんの令和3年産の作付面積合計は201haとなっています。また、令和3年の工芸農作物の産出額は11億円で、農業産出額全体に占める割合は0.6%となっています。

本県の工芸農作物は、葉たばこを中心として古くから山間・山沿地域における畑作の基幹作物として農業経営はもとより、地域経済の発展に大きな役割を果たしてきました。しかし、近年の担い手の高齢化、需給の不均衡による価格の不安定化、嗜好の変化及び輸入の増大等から、生産は減少傾向が続いています。

本県の工芸農作物生産の推移



		工芸農作物合計	
		作付面積 (ha)	収穫量 (t)
福島県	昭60	7,471	17,665
	平2	3,770	14,213
	7	2,664	7,715
	12	2,030	5,097
	17	1,450	3,659
	22	1,043	2,478
	23	46	504
	24	362	1,221
	25	358	1,068
	26	320	821
	27	383	1,121
	28	336	1,002
	29	318	931
30	289	897	
令元	258	691	
2	232	528	
3	201	530	

※葉たばこ、こんにゃくいも、おたねにんじんの計（平成12年度まではホップを含む）

（県園芸課調べ）

ア 葉たばこ

本県の令和4年の作付面積は114ha、収穫量は275t、平成23年は作付を自粛

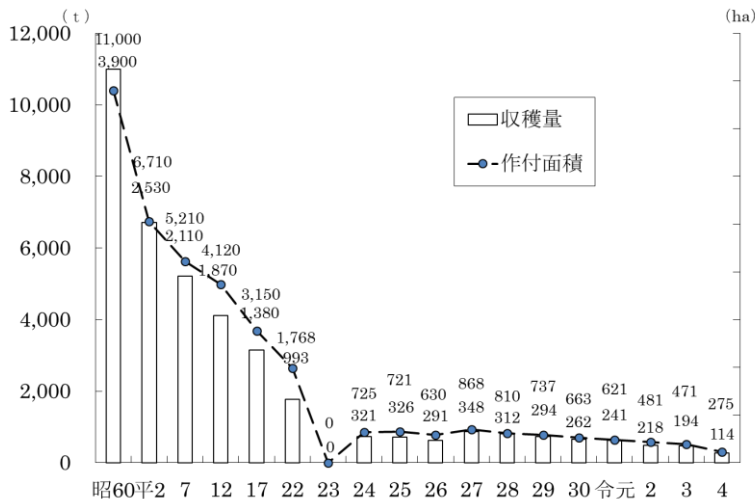
本県の葉たばこは、在来種の松川葉を主力とし、阿武隈高地をはじめとする県内全域で栽培され、昭和63年まで全国第1位の産地を形成してきました。

しかし、作付面積は昭和41年に8,310haと最高を記録したものの、喫煙人口の減少や景気の影響等により面積は年々減少し、さらに、昭和57年、60年、平成元年、17年に実施された大幅な生産調整を経て、平成22年は993haとなりました。近年は、担い手の減少による廃減作が進む中、作業効率の向上や良質葉たばこ生産に向け、パーレー種の「みちのく」から、より優良な「たいへい」への全面転換が行われ、産地の再構築を図ってきました。

そうした中、東日本大震災に伴う原子力災害の影響により、平成23年は県下全域で、作付を自粛しました。

平成24年以降、一部地域で作付が再開されましたが、担い手の高齢化や震災の影響で休作しているほ場もあり、震災以前の面積には戻っていません。

本県の「葉たばこ」生産の推移



		葉たばこ	
		作付面積 (ha)	収穫量 (t)
福島県	昭60	3,900	11,000
	平2	2,530	6,710
	7	2,110	5,210
	12	1,870	4,120
	17	1,380	3,150
	22	993	1,768
	23	0	0
	24	321	725
	25	326	721
	26	291	630
	27	348	868
	28	312	810
	29	294	737
30	262	663	
令元	241	621	
2	218	481	
3	194	471	
4	114	275	
全国	令4	3,602	8,782

（南東北たばこ耕作組合調べ）

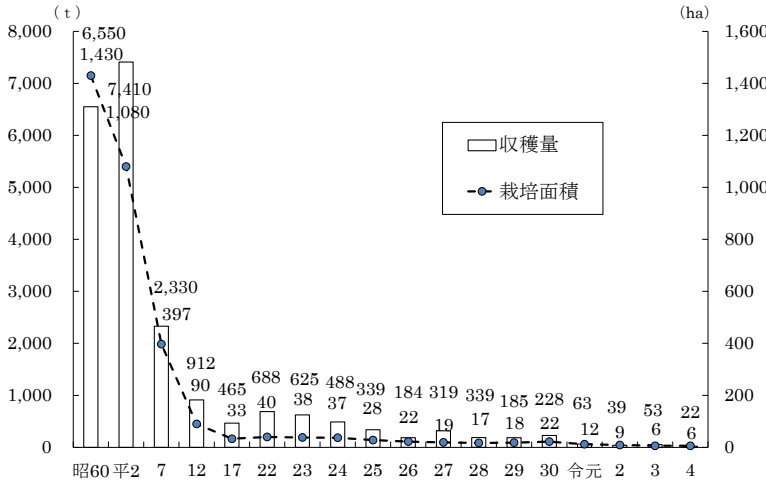
イ こんにゃくいも

本県の令和4年産の栽培面積は6ha、収穫量は22t

こんにゃくいもは、東白川地方を主産地とし、福島市、二本松市の山間傾斜地における基幹作物として生産されてきましたが、栽培面積は昭和50年の2,130haをピークとして、その後、年々減少しています。

これは、安価な輸入品の増加により、国産品の価格が低迷し、生産意欲が減退したことなどが大きな原因ですが、近年は、国産原料が見直されています。

本県の「こんにゃくいも」生産の推移



		こんにゃくいも		
		栽培面積 (ha)	収穫面積 (ha)	収穫量 (t)
福島県	昭60	1,430	548	6,550
	平2	1,080	502	7,410
	7	397	194	2,330
	12	90	48	912
	17	33	22	465
	22	40	30	688
	23	38	28	625
	24	37	18	488
	25	28	18	339
	26	22	14	184
	27	28	12	248
	28	17	12	188
	29	18	13	185
	30	22	11	228
	令元	12	11	63
	2	9	9	39
	3	6	6	53
4	6	6	22	

((一財) 日本こんにゃく協会調べ)

ウ おたねにんじん

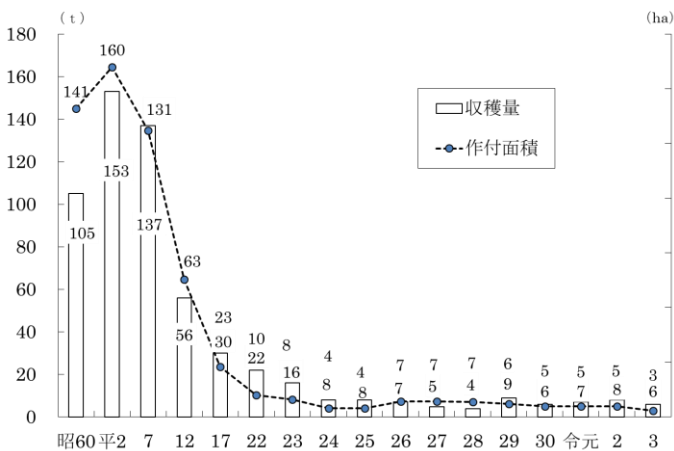
本県の令和3年産の作付面積は3ha、収穫量は6t

おたねにんじんの栽培は、享保元年(1715年)に会津藩により生産が奨励されて以来、会津地方における特産品として定着し、我が国では数少ない輸出農産物として産地が形成されてきました。

かつては本県で生産されたものの多くが香港市場へ輸出されてきました。円高による輸出価格の低迷や生産者の高齢化、原発事故の影響等により、作付面積は年々減少している一方、近年は新規栽培者の確保、育成に力を入れています。

近年、中国産の生薬原料の価格が高騰し、製薬メーカー等の実需者における国産の生薬原料の需要が拡大しています。

本県の「おたねにんじん」生産の推移



		おたねにんじん		
		作付面積 (ha)	収穫面積 (ha)	収穫量 (t)
福島県	昭60	141	25	105
	平2	160	33	153
	7	131	26	137
	12	63	13	56
	17	23	6	30
	22	10	3	22
	23	8	2	16
	24	4	1	8
	25	4	1	8
	26	7	1	7
	27	7	1	5
	28	7	1	4
	29	6	1	9
	30	5	1	6
	令元	5	1	7
	2	5	1	8
	3	3	1	6

(資料：福島農政事務所「福島農林水産統計年報」、平成17年度以降は県園芸課、(公財) 日本特産農産物協会調べ)

(7) 養蚕

本県の令和4年の上繭量は9t

令和4年の上繭（くず繭等を除いた繭）量は9tとなっています。

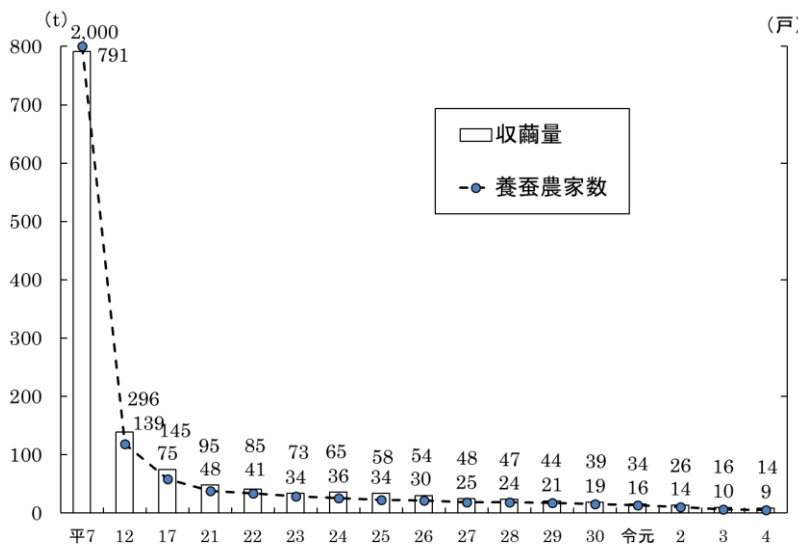
養蚕を取り巻く課題として、

- ① 後継者不足による養蚕農家の高齢化
- ② 着物離れや長引く不況による国内和装需要の減退

があげられます。

県では、稚蚕飼育所での稚蚕の健全育成を通して養蚕農家の高品質な繭生産を支援しています。養蚕農家及び製糸業、絹織物業、小売業等の連携（蚕糸・絹業提携グループづくり）による繭の契約販売を推進しており、平成23年度以降は、蚕糸絹業提携グループ内での繭取引が中心になっています。

本県の収繭量及び養蚕農家数の推移



	収繭量 (t)	養蚕農家数 (戸)
昭60	7,958	16,340
平2	5,848	10,000
7	791	2,000
12	139	296
17	75	145
21	48	95
22	41	85
23	34	73
24	36	65
25	34	58
26	30	54
27	25	48
28	24	47
29	21	44
30	19	41
令元	16	39
2	14	34
3	10	26
4	9	16

※収繭量とは、上繭の他、種繭、玉繭、くず繭を含む数量をいう。ただし、平成17年度以降は、上繭のみの数量。

(県園芸課調べ)

(8) 畜産

本県の令和3年畜産の産出額は475億円

令和3年の畜産の産出額は、肉用牛などで増加した結果、前年比109.4%の475億円となりました。本県農業産出額に占める畜産の割合は24.8%で、米に次いで第2位となっています。

本県の畜産業は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び原子力災害の影響により、原乳及び肉牛の出荷制限や自給飼料及び牧草地等の利用制限、さらには風評など、多くの課題に直面することになりました。

県では、県産農産物の放射性物質モニタリング検査の実施や安全性の積極的なPRにより、風評の払拭に取り組むとともに、高能力乳用雌牛や優良繁殖雌牛の導入による家畜生産基盤の再生、草地・飼料畑等の除染推進による自給飼料生産基盤の復活、水田を活用した飼料用イネ（飼料用米、稲WCS）の活用、飼料用トウモロコシの作付推進等の施策を展開し、本県畜産業の力強い復興に向け、全力で取り組んでいます。

なお、畜産を取り巻く情勢は、平成3年4月からの牛肉輸入自由化をはじめ、牛肉・豚肉等の関税引き下げ、TPP、日EU・EPA等の通商交渉の進展により、輸入畜産物との競争が激しくなっています。

また、平成18年末から続いていた配合飼料価格の高騰などによる生産費の上昇が一段と畜産経営を圧迫し、令和3年度以降さらに配合飼料価格や輸入粗飼料価格が高止まりしています。

平成13年9月の国内初のBSEの発生により大きな影響を受けたことから、トレーサビリティ制度等を活用し、食の安全・安心を確保するとともに、平成22年には、国内において口蹄疫が流行し、その後も高病原性鳥インフルエンザ及び豚熱等の特定家畜伝染病の発生が認められていることから、飼養衛生管理基準の徹底等、家畜伝染病の発生予防や万が一の発生に備えた防疫対策の強化に取り組んでいます。

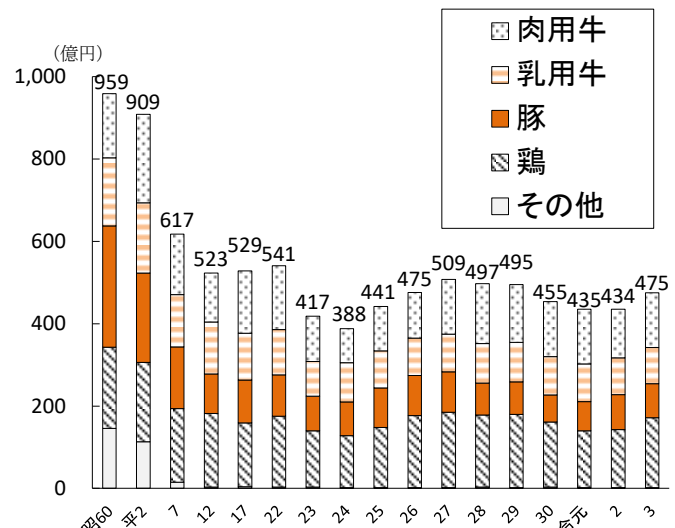
本県の畜産産出額の推移 (単位：億円、%)

畜産計	肉用牛	乳用牛	豚	鶏	その他	
昭60	959	156	165	295	197	146
(100.0)	(16.3)	(17.2)	(30.8)	(20.5)	(15.2)	
平2	909	215	171	217	193	113
(100.0)	(23.7)	(18.8)	(27.1)	(24.1)	(12.4)	
7	617	147	127	150	179	15
(100.0)	(23.8)	(20.6)	(24.3)	(29.0)	(2.4)	
12	523	119	126	96	179	3
(100.0)	(22.8)	(24.1)	(18.4)	(34.2)	(0.6)	
17	529	151	114	104	155	4
(100.0)	(28.5)	(21.6)	(19.7)	(29.3)	(0.8)	
22	541	155	110	101	172	3
(100.0)	(28.7)	(20.3)	(18.7)	(31.8)	(0.6)	
23	417	110	84	84	137	3
(100.0)	(26.4)	(20.1)	(20.1)	(32.9)	(0.7)	
24	388	83	95	82	126	2
(100.0)	(21.4)	(24.5)	(21.1)	(32.5)	(0.5)	
25	441	108	90	96	146	2
(100.0)	(24.5)	(20.4)	(21.8)	(33.1)	(0.5)	
26	475	111	91	97	175	2
(100.0)	(23.4)	(19.2)	(20.4)	(36.8)	(0.4)	
27	509	133	92	98	183	2
(100.0)	(26.1)	(18.1)	(19.3)	(36.0)	(0.4)	
28	497	145	96	78	175	3
(100.0)	(29.2)	(19.3)	(15.7)	(35.2)	(0.6)	
29	495	140	96	79	178	2
(100.0)	(28.3)	(19.4)	(16.0)	(36.0)	(0.4)	
30	455	134	93	66	158	3
(100.0)	(29.5)	(20.4)	(14.5)	(34.7)	(0.7)	
令元	435	133	91	71	138	2
(100.0)	(30.6)	(20.9)	(16.3)	(31.7)	(0.5)	
2	434	118	89	85	141	2
(100.0)	(27.2)	(20.5)	(19.6)	(32.5)	(0.5)	
3	475	133	88	82	170	2
(100.0)	(28.0)	(18.5)	(17.3)	(35.8)	(0.4)	

※ ( ) 内の数値は構成比を示す。

※小数点以下の端数処理のため合計値が合わないことがある。

※その他には養蚕を含む。



(資料：農林水産省「生産農業所得統計」)

家畜飼養頭羽数の全国順位の推移 (各年2月1日現在)

(単位：位)

	昭60	平2	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令元	2	3	4
乳用牛	14	14	13	13	14	13	13	18	18	18	18	18	18	18	19	18	18	20
肉用牛	7	8	7	9	9	10	10	14	13	13	12	12	14	16	15	16	15	15
豚	8	10	12	16	—	—	18	20	20	20	—	20	20	20	20	—	20	21
採卵鶏	22	21	18	19	—	—	13	21	19	17	—	16	15	14	19	—	15	13
ブロイラー	8	15	23	23	19	—	—	—	26	26	—	28	25	27	26	—	25	24

※センサス調査年のため、平成17年、平成22年、平成27年及び令和2年の豚、採卵鶏の調査は行われていない。

また、平成22年～24年、平成27年及び令和2年のブロイラーの調査は行われていない。

(資料：農林水産省「畜産統計」)

ア 乳用牛

本県の飼養戸数は263戸、飼養頭数は1万1,600頭

令和4年の乳用牛の飼養戸数は263戸、飼養頭数は1万1,600頭で、前年と比べて20戸(7.0%)減少、200頭(1.6%)減少しました。一方、1戸当たり飼養頭数は44.1頭と前年より増加しましたが、全国平均の103.1頭と比べると少ない状況となっています。

生乳生産量は、東日本大震災及び原子力発電所事故の影響により頭数が激減したため、平成23年は震災前(101,407トン)に比べて約74%まで減少しました。平成24～25年には震災前の8割程度まで回復しましたが、平成26年以降は減産傾向となり、令和4年は震災前の65%程度になっています。

また、原子力発電所事故の影響により原乳の出荷制限が指示されましたが、生産者団体との連携のもと、安全な飼料確保と適正飼養管理の徹底指導等に取り組んでおり、毎週実施している県内で生産された原乳の緊急時モニタリングにおいては、平成23年6月の出荷制限解除以降、これまで放射性物質は一度も検出されていません。引き続き、原乳の安全性を確保し、福島県産牛乳に対する風評払拭を図るとともに、避難・休業を余儀なくされた酪農家の経営再開の支援と乳用雌牛の導入を進めるなど、生産基盤回復に向けた取組を進めていきます。

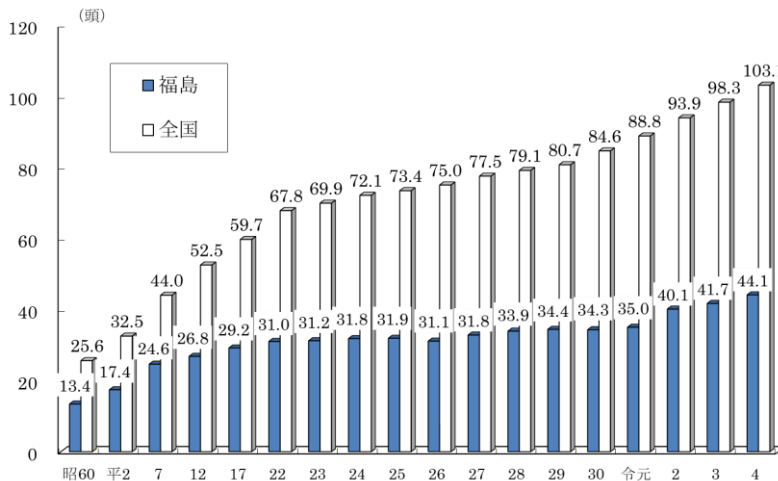
本県の乳用牛の年次別飼養動向

	昭60	平2	7	12	17	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令元	2	3	4
飼養戸数(戸)	2,910	2,080	1,280	920	737	590	567	548	466	448	438	384	366	352	350	329	299	283	263
対前年比(%)	94.8	94.5	89.5	94.8	94.9	92.0	96.1	96.6	85.0	96.1	97.8	87.7	95.3	96.2	99.4	94.0	90.9	94.6	92.9
飼養頭数(頭)	39,000	36,100	31,500	24,700	21,500	17,900	17,600	17,100	14,800	14,300	13,600	12,600	12,400	12,100	12,000	11,500	12,000	11,800	11,600
対前年比(%)	102.9	101.1	96.6	92.9	95.6	91.8	98.3	97.2	86.5	96.6	95.1	92.6	98.4	97.6	99.2	95.8	104.3	98.3	98.3
1戸当たり飼養頭数(頭)	13.4	17.4	24.6	26.8	29.2	30.3	31.0	31.2	31.8	31.9	31.1	32.8	33.9	34.4	34.3	35.0	40.1	41.7	44.1

※戸数及び頭数は各年2月1日現在

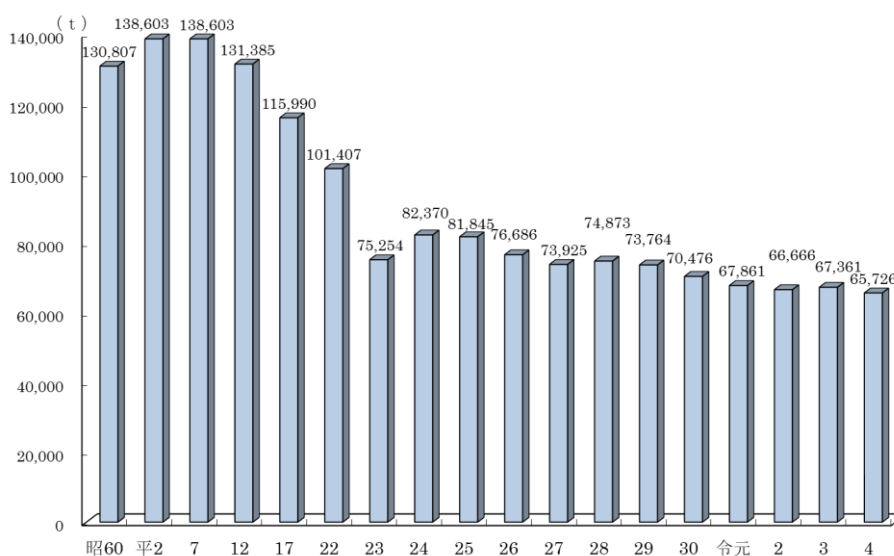
(資料:農林水産省「畜産統計」)

本県及び全国の乳用牛1戸当たり飼養頭数の推移



(資料:農林水産省「畜産統計」)

本県の生乳生産量の推移



(資料:農林水産省「牛乳乳製品統計」)

イ 肉用牛

本県の飼養戸数は1,650戸、飼養頭数は4万9,400頭

令和4年の肉用牛の飼養戸数は1,650戸、飼養頭数は4万9,400頭で、前年と比べて100戸(5.7%)減少、1,100頭(2.2%)減少しました。1戸当たり飼養頭数は29.9頭と増加しましたが、全国平均の64.7頭と比べて少ない状況となっています。

肉用子牛価格は、平成13年9月に発生したBSEの影響により取引価格が下落しました。平成14年1月以降、回復基調となり、51万円前後で取引引きされていましたが、景気悪化に伴う牛肉の消費低迷や飼料価格高騰の影響により、平成21年以降は40万円前後で推移していました。平成23年には原発事故の影響により、再び38万円前後まで下落しました。平成25年以降は50万円台まで回復し、平成28年6月以降は概ね70～80万円台で取引されていましたが、令和4年は60万円台で取引されました。

平成23年8月の牛肉の出荷制限一部解除以降は、放射性物質に関する風評を払拭するため、本県から県内外に出荷される全ての肉牛について放射性物質検査を行う、いわゆる全頭検査を実施してきましたが、令和2年度以降、肥育牛は全戸検査へ移行し、老齢牛(廃用牛)は全頭検査を継続することとしました。また、牛飼養農家に定期的な立入調査を実施し、飼養状況の確認による出荷管理を行うことにより、牛肉の安全性確保と福島県産牛肉に対する消費者等からの信頼回復を図るなど、一日も早い生産基盤の復興とブランド力の強化に向けた取組を進めています。

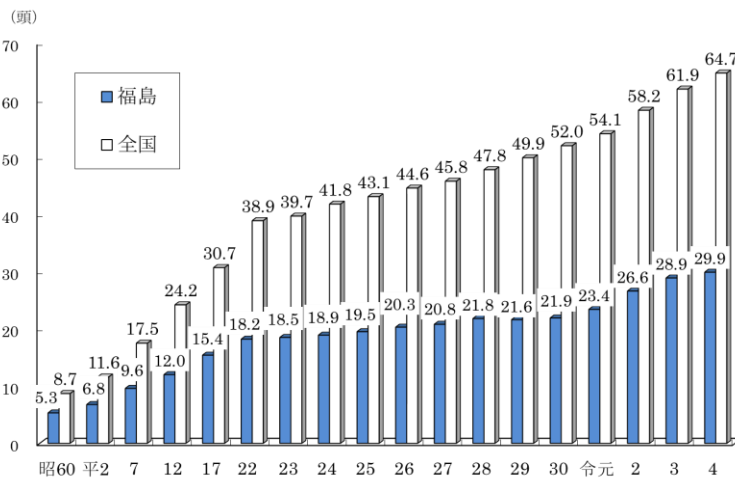
本県の肉用牛の年次別飼養動向

	昭60	平2	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令元	2	3	4
飼養戸数(戸)	17,600	15,000	10,900	7,260	5,340	4,300	4,020	3,080	2,910	2,700	2,530	2,380	2,320	2,220	2,030	1,850	1,750	1,650
対前年比(%)	97.8	96.2	92.4	91.8	95.5	96.0	93.5	76.6	94.5	92.8	93.7	94.1	97.5	95.7	91.4	91.1	94.6	94.3
飼養頭数(頭)	93,600	101,600	104,600	87,300	82,100	78,200	74,200	58,100	56,600	54,700	52,600	51,800	50,200	48,600	47,500	49,300	50,500	49,400
対前年比(%)	105.5	101.8	99.2	98.3	93.2	93.4	94.9	78.3	97.1	96.6	96.2	98.5	96.9	96.8	97.7	103.8	102.4	97.8
1戸当たり飼養頭数(頭)	5.3	6.8	9.6	12.0	15.4	18.2	18.5	18.9	19.5	20.3	20.8	21.8	21.6	21.9	23.4	26.6	28.9	29.9

※戸数及び頭数は各年2月1日現在

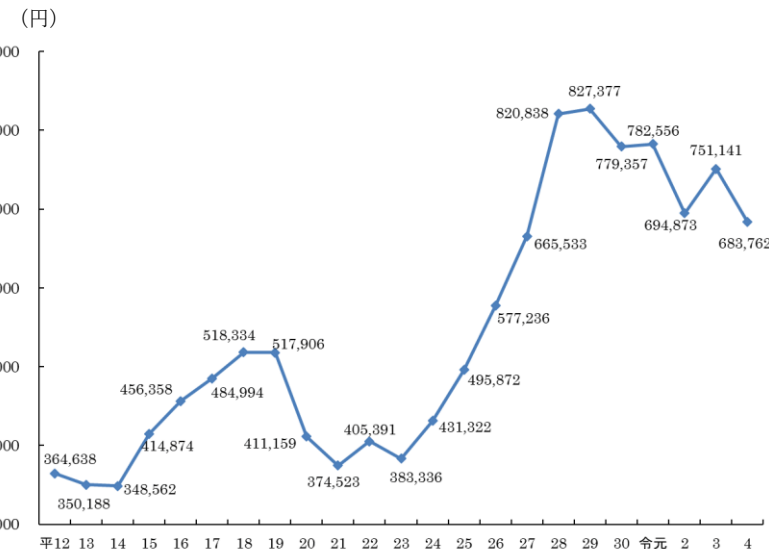
(資料:農林水産省「畜産統計」)

本県及び全国の肉用牛1戸当たり飼養頭数の推移



(資料:農林水産省「畜産統計」)

県内家畜市場における肉用子牛価格の推移(去勢、雌平均)



(県畜産課調べ)

## ウ 豚

本県の飼養戸数は55戸、飼養頭数は12万1,600頭

令和4年の豚の飼養戸数は55戸、飼養頭数は12万1,600頭で、前年と比べて飼養戸数は7戸（11.3%）減少、飼養頭数は4,400頭（3.5%）減少しました。1戸当たりの飼養頭数は2,211頭と増加しましたが、全国平均の2,492頭と比べて少ない状況となっています。小規模農家は廃業等により減少していますが、大中規模の農家は経営の合理化をめざし、一貫生産で規模拡大を図っていることから、飼養頭数全体に占める大規模農家の飼養割合は増加しています。

こうした中、国際化に対応した豚肉の安定供給と養豚経営の維持発展のためには、豚肉の高品質化と低コスト生産が必要であることから、本県で造成したランドレース種「フクシマL2」やデュロック種「フクシマD桃太郎」の普及を進め、これらを活用した三元交雑用豚の生産基盤を強化し、養豚経営の安定を図っています。

また、「うつくしまエゴマ豚」等の高品質豚生産により、特徴ある豚肉づくりを推進しています。

### 本県の豚の年次別飼養動向

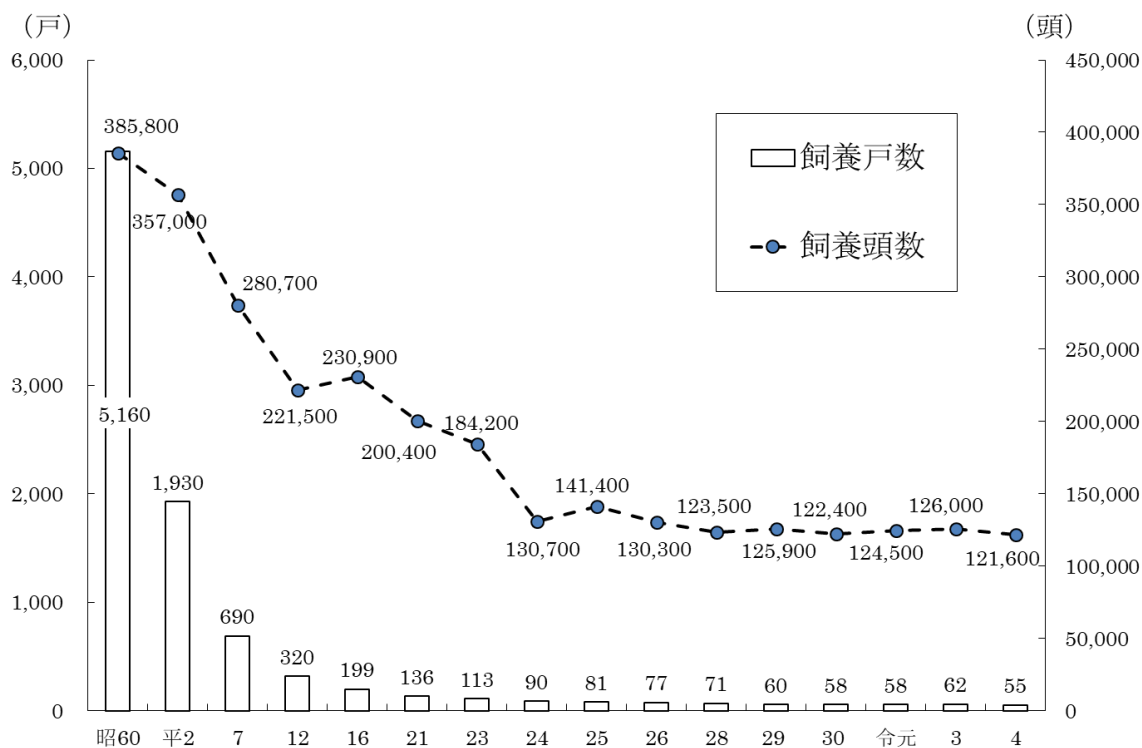
	昭60	平2	7	12	16	21	23	24	25	26	28	29	30	令元	3	4
飼養戸数（戸）	5,160	1,930	690	320	199	136	113	90	81	77	71	60	58	58	62	55
対前年比（％）	97.8	77.8	84.1	88.9	94.8	93.8	83.1	79.6	90.0	95.1	92.2	84.5	96.7	100.0	106.9	88.7
飼養頭数（頭）	385,800	357,000	280,700	221,500	230,900	200,400	184,200	130,700	141,400	130,300	123,500	125,900	122,400	124,500	126,000	121,600
対前年比（％）	105.5	97.8	93.6	99.4	101.9	100.0	91.9	71.0	108.2	92.1	94.8	101.9	97.2	101.7	101.2	96.5
1戸当たり飼養頭数（頭）	74.8	185.0	406.8	692.2	1,160.3	1,437.5	1,630.1	1,452.0	1,745.7	1,692.2	1,739.4	2,098.3	2,110.3	2,146.6	2,032.3	2,210.9

※戸数及び頭数は各年2月1日現在

※センサス調査年のため、平成17年、22年、27年、令和2年の調査は行われていない。

（資料：農林水産省「畜産統計」）

### 本県の豚・飼養戸数及び飼養頭数の推移





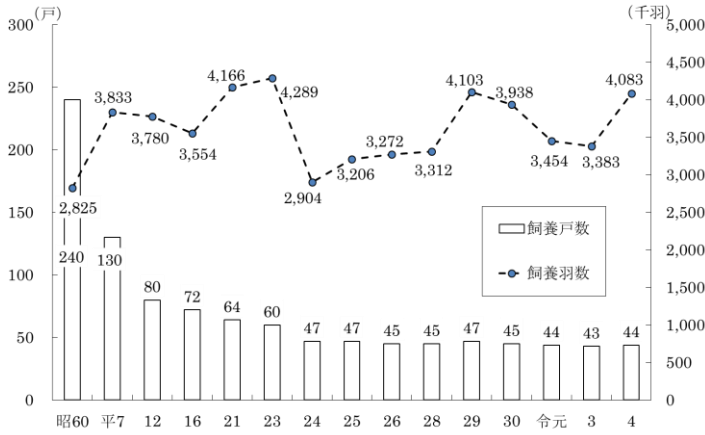
エ 養鶏

(ア) 採卵鶏

本県の飼養戸数は44戸、飼養羽数（成鶏めす）は408万3,000羽

令和4年の採卵鶏の飼養戸数は44戸、飼養羽数（成鶏めす）は408万3,000羽で、前年と比べて飼養戸数は1戸（2.3%）増加、飼養羽数は70万羽（20.7%）増加しました。1戸当たりの飼養羽数は、9万2,800羽と前年より増加し、全国平均飼養羽数7万5,900羽を上回る規模となっています。

本県の採卵鶏・飼養戸数及び飼養羽数の推移



	飼養戸数 (戸)	対前年比 (%)	飼養羽数 (千羽)	対前年比 (%)	1戸当たり飼養羽数 (羽)
昭60	240	96.0	2,825	104.7	592
平7	130	92.9	3,833	97.2	29,500
12	80	100.0	3,780	106.1	47,300
16	72	90.0	3,554	99.2	49,400
20	64	101.6	4,179	99.1	65,300
21	64	100.0	4,166	99.7	65,100
23	60	93.8	4,289	103.0	71,500
24	47	78.3	2,904	67.7	61,800
25	47	100.0	3,206	110.4	68,200
26	45	95.7	3,272	102.1	72,700
28	45	100.0	3,312	101.2	73,600
29	47	104.4	4,103	123.9	87,300
30	45	95.7	3,938	96.0	87,500
令元	44	97.8	3,454	87.7	78,500
3	43	97.7	3,383	97.9	78,700
4	44	102.3	4,083	120.7	92,800

※戸数及び羽数は各年2月1日現在

※成鶏めす羽数300以上の経営のみを集計。10年以下は成鶏めす1,000羽以上の経営のみを集計

※センサス調査年のため、平成17年、22年、27年、令和2年の調査は行われていない。

(資料：農林水産省「畜産統計」)

(イ) ブロイラー

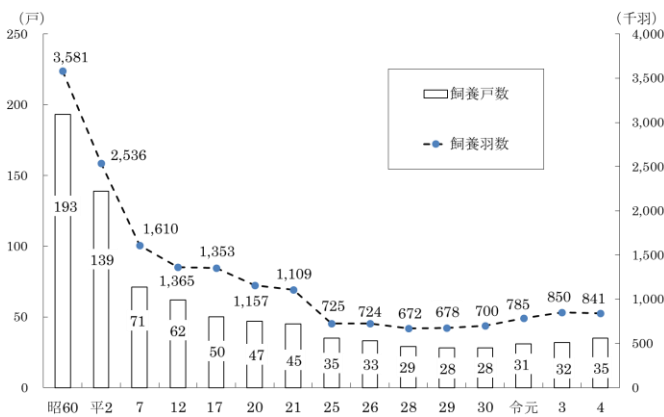
本県の飼養戸数は35戸、飼養羽数は84万1,000羽

令和4年のブロイラーの飼養戸数は35戸、飼養羽数は84万1,000羽で、前年と比べて飼養戸数は3戸増加、飼養羽数は9,000羽（1.1%）減少しました。また、1戸当たりの飼養羽数は2万4,000羽となっています。

主産県による計画生産に歩調を合わせ、需要動向に対応した生産を行うとともに、生産農家のコスト低減等の合理化を推進しています。

また、本県固有の地鶏である「ふくしま赤しゃも（川俣シャモ）」や「会津地鶏」の生産拡大に取り組んでいます。

本県のブロイラー・飼養戸数及び飼養羽数の推移



	飼養戸数 (戸)	対前年比 (%)	飼養羽数 (千羽)	対前年比 (%)	1戸当たり飼養羽数 (羽)
昭60	193	92.3	3,581	99.1	18,554
平2	139	102.2	2,536	92.3	18,245
7	71	81.6	1,610	92.2	22,676
12	62	98.4	1,365	90.0	22,016
17	50	86.2	1,353	98.0	27,060
21	45	95.7	1,109	95.9	24,600
25	35	—	725	—	20,700
26	33	94.3	724	99.9	21,900
28	29	87.9	672	92.8	23,200
29	28	96.6	678	100.9	24,200
30	28	100.0	700	103.2	25,000
令元	31	110.7	785	112.1	25,300
3	32	103.2	850	108.3	26,600
4	35	109.3	841	98.9	24,000

※戸数及び羽数は各年2月1日現在

※平成22年～24年の調査は行われていない。

※センサス調査年のため、平成27年、令和2年の調査は行われていない。

(資料：農林水産省「畜産統計」「食鳥流通統計調査」)

オ 飼料作物

本県の飼料作物の作付面積は 1 万 4, 100ha

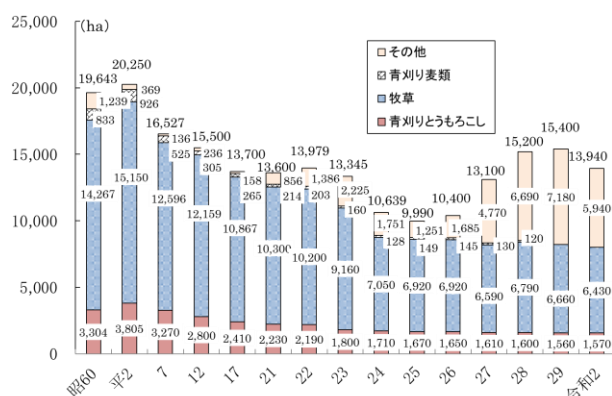
令和 2 年の飼料作物の作付面積は、平成 29 年と比べて 1, 300ha (8. 4%) 減の 1 万 4, 100ha となっています。作付面積のうち牧草類は全体の 45. 6%、青刈りとうもろこしは 11. 1%となっています。

飼料作物の生産は、阿武隈地域広域開発等による牧草地及び飼料畑の造成・拡大や水田転作により作付が増加してきましたが、近年は漸減傾向にありました。特に、原子力災害の影響で避難指示区域が設定され、平成 25 年までは作付が大幅に減少しましたが、飼料生産組織が 60 組織育成され、各種補助事業を活用した農機具導入等により生産面積拡大が進みつつあります。

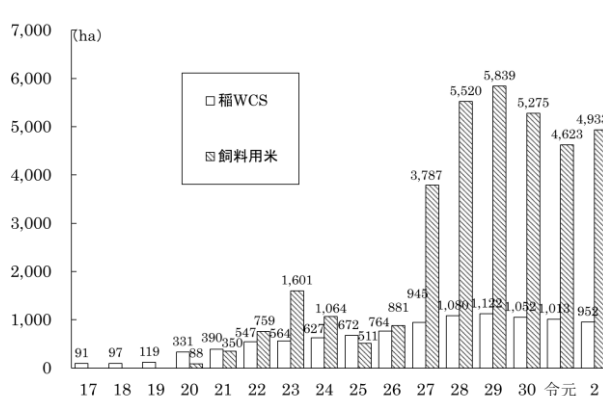
一方、飼料用米の作付面積は平成 29 年をピークに令和元年までは減少傾向にありましたが、令和 2 年以降は新型コロナウイルス感染症の影響により主食用米の需要が減少し、米の在庫が増加することに伴い、米価下落が懸念されることから、緊急に飼料用米への転換を推進し、12, 631ha と作付面積が増加しました。

また、令和 2 年における生産費に占める流通飼料費の割合は、原子力災害の影響等で牧草や放牧地の利用が制限されたため、大家畜で 39~48%となっています。安価な畜産物の供給と畜産経営の安定向上のため、牧草地等の除染を進めるとともに、自給粗飼料生産基盤の拡充や稲 WCS、飼料用米等の普及による良質自給飼料の増産を推進しています。

本県の飼料作付面積の推移



本県の稲 WCS・飼料用米作付面積の推移



※牧草は、いね科、まめ科及び混播牧草の合計面積。

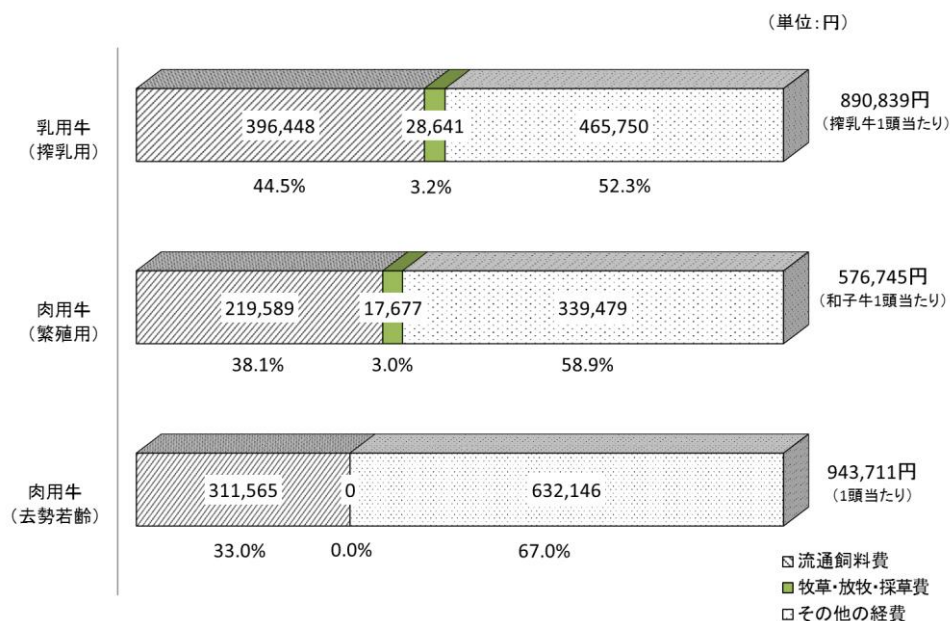
※平成 29 年度のその他には、青刈り麦類の面積を含む。

(資料：農林水産省「作物統計」)

(県水田畑作課調べ)

本県の生産費（1 頭当たり）に占める飼料費の割合（平成 25 年）

※平成 26 年以降、県別の統計がなされていないため、参考として掲載



(資料：東北農政局「福島農林水産統計年報」)

カ 畜産物の流通について

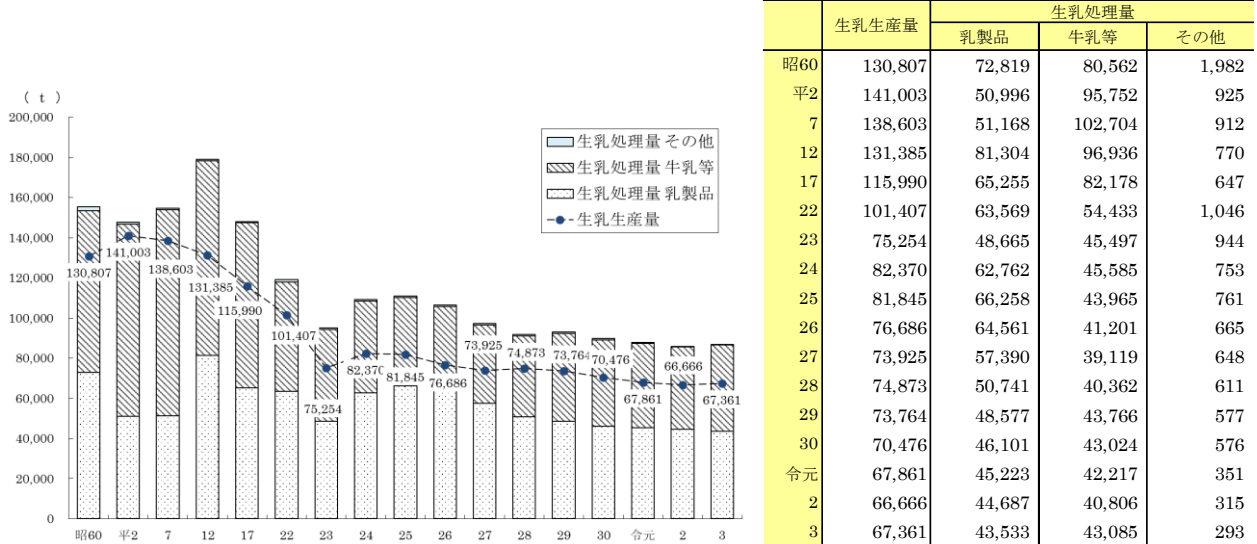
畜産物の流通は、取引過程において処理・加工が行われるため、他の農産物に比べて複雑なものとなっています。本県の畜産物流通の出荷先は、隣接する首都圏への出荷割合が高い傾向にあります。

(ア) 生乳

指定生乳生産者団体を通した一元集荷多元販売の体制が確立しており、概ね全量がこの流通体制によって集荷販売されています。令和3年の生乳生産量は、前年比べて1.0%増の6万7,361tとなっており、生乳処理量用途別内訳は牛乳等仕向が49.6%、乳製品仕向が50.1%となっています。

本県の生乳生産量と生乳処理量用途別推移

(単位：t)



(資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」)

(イ) 食肉

牛・豚共に、県内におけると畜頭数は、平成17年以降、ほぼ横ばいで推移しています。

原発事故後、県産牛肉から暫定規制値を超過した放射性セシウムが検出されたため、国から本県産牛の出荷制限が指示されました(平成23年7月19日)。

その後、出荷制限は一部解除され(同年8月25日)、各牛飼養農家からの初回と畜(出荷)は、県内と畜場へ出荷することが条件となりました。令和3年の牛の県内と畜頭数は前年に比べ、和牛は97.4%、乳用牛は113.4%、交雑牛は69.7%となりました。

本県の肉用牛、乳用牛、豚の出荷頭数及び県内と畜頭数

(単位：頭)

	出荷頭数			県内と畜頭数			
	和牛	乳用牛	豚	和牛	乳用牛	交雑牛	豚
昭60	17,656	22,811	546,805	1,061	6,965		349,870
平2	15,988	22,179	548,384	963	8,319		320,814
7	21,945	17,788	477,807	2,583	3,945		261,131
12	18,595	12,737	359,986	2,698	2,338		207,145
17	13,900	17,386	340,000	2,536	2,114		247,386
22	-	-	-	1,963	479	2,032	246,976
23	-	-	-	2,459	752	1,339	224,850
24	-	-	-	3,663	1,052	1,536	235,683
25	-	-	-	3,390	822	824	218,130
26	-	-	-	3,032	561	407	206,262
27	-	-	-	2,855	519	354	198,418
28	-	-	-	2,655	407	363	210,779
29	-	-	-	2,634	358	494	217,580
30	-	-	-	2,655	377	500	224,027
令元	-	-	-	2,507	332	560	228,595
2	-	-	-	2,676	513	571	219,045
3	-	-	-	2,607	582	398	232,811

※平成22年以降の出荷頭数は未公表。

(資料：農林水産省「畜産物流通統計」)

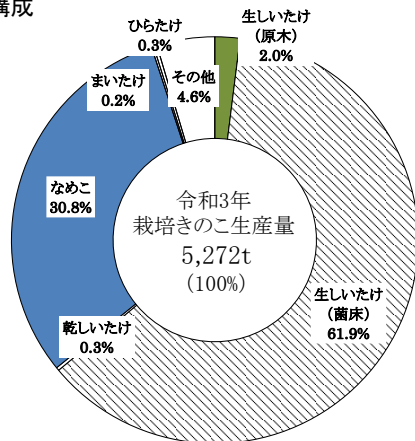
(9) 菌茸類

本県の令和3年の栽培きのこ生産量は5,272 t

令和3年の栽培きのこ生産量は5,272 tで、前年と比べて7.3%増加しました。

種類別にみると、全体の64.2%を生しいたけが占めています。このうち、生しいたけは、前年と比べ9.6%増の3,371 tとなりました。さらにその内訳を見ると、原木栽培は前年に比べて9.4%増の105 t、菌床栽培は前年に比べて9.6%増の3,266 tとなっており、菌床栽培が生しいたけの96.9%を占めています。乾しいたけは前年に比べ56.5%増の13.3 t、なめこは4.8%増の1,622 t、ひらたけは36.4%減の14 t、まいたけは57.1%減の9 tとなっています。

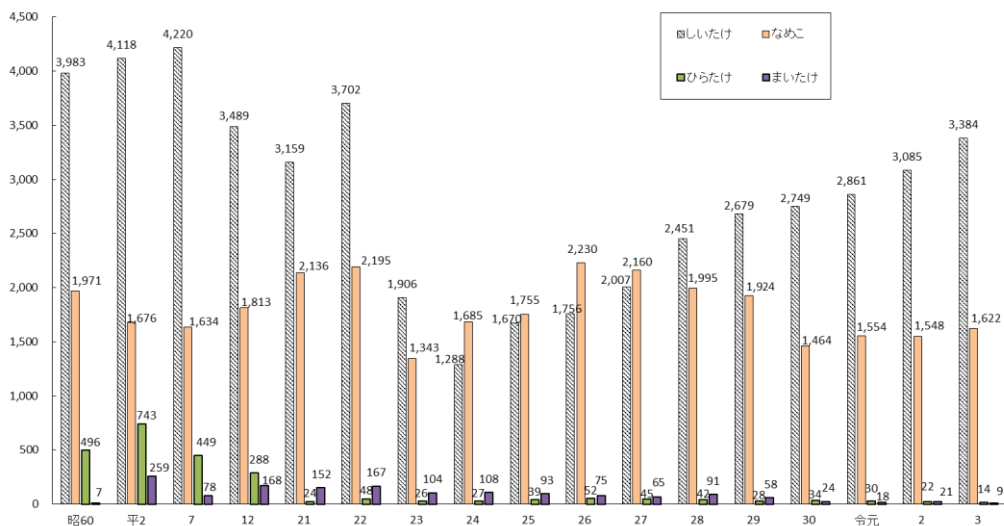
令和3年本県の栽培きのこの類の生産量構成



(資料：福島県「特用林産関係統計書」)

本県の主な栽培きのこの類生産量の推移

(単位：t)



(単位：t)

		しいたけ			なめこ	ひらたけ	まいたけ
		計	生しいたけ	乾しいたけ			
福島県	昭60	3,983	3,654	329	1,971	496	7
	平2	4,118	3,838	280	1,676	743	259
	7	4,220	3,999	221	1,634	449	78
	12	3,489	3,355	134	1,813	288	168
	17	2,899	2,825	74	2,171	29	177
	22	3,702	3,665	37	2,195	48	167
	23	1,906	1,894	12	1,343	26	104
	24	1,288	1,285	3	1,685	27	108
	25	1,670	1,668	2	1,755	39	93
	26	1,756	1,754	2	2,230	52	75
	27	2,007	2,004	3	2,160	45	65
	28	2,451	2,444	7	1,995	42	91
	29	2,679	2,675	4	1,924	28	58
30	2,749	2,744	5	1,464	34	24	
令元	2,861	2,853	8	1,554	30	18	
2	3,085	3,076	9	1,548	22	21	
3	3,384	3,371	13	1,622	14	9	
全国	令3	73,274	71,058	2,216	24,063	4,463	54,521
東北	令3	14,485	14,360	125	7,509	51	532

(資料：林野庁「特用林産基礎資料」)

(10) 加工農産物

**本県の加工農産物の産出額は11億円**

令和3年の自家生産の加工農産物（主にあんぼ柿）の産出額は11億円で、前年より4億円減となりました。

本県における農産物加工の実態は、比較的小規模なグループによる零細な取組が多い状況にあることから、農産物加工施設等の整備を推進するとともに、試験研究機関等との連携を図り、地域の特性を生かした郷土色豊かな農産物加工品の開発など地域産業6次化を推進し、付加価値の高い新たな地域産業の創造に努めてきました。

原子力災害の影響により、平成23年、24年度にあんぼ柿の加工自粛を主産地において実施したため、産出額は大きく減少しましたが、平成25年度に加工が再開され、平成27年以降は東日本大震災以前の産出額を上回っています。

**加工農産物の産出額の推移**

(単位：億円)

	昭60	平2	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	3
加工農産物産出額	2	6	1	3	5	7	1	1	3	5	10	10	10	11	11	15	11

※上記の対象は、農家個人が加工したもので、主にあんぼ柿（干柿）

(資料：農林水産省「生産農業所得統計」)

(11) 農産物直売所・加工施設

**本県の直売所設置数は218か所（販売額158億5,700万円）、**

**加工所設置数は118か所（販売額10億1,800万円）**

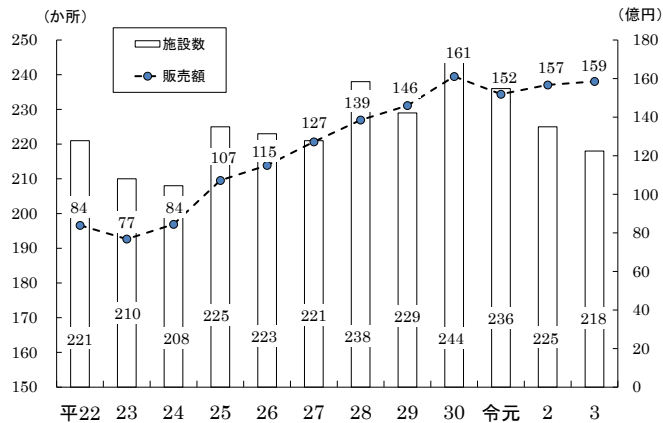
ア 農産物直売所

令和3年度の農産物直売所は218か所（令和4年4月1日現在）で、前年度と比較して7か所減少しています。

また、年間販売額の合計は158億5,700万円で、前年と比較して1億8,700万円（1.2%）増加しています。

**農産物直売所の施設数及び販売額の推移**

	農産物直売所	
	施設数 (か所)	販売額 (億円)
平22	221	83.9
23	210	76.8
24	208	84.4
25	225	107.2
26	223	115.0
27	221	127.2
28	238	138.5
29	229	146.0
30	244	161.1
令和元	236	151.9
2	225	156.7
3	218	158.5



※農産物直売所の対象は、個人経営を除いた農業者が主体的に運営している施設とし、有人直売所、青空市、インショップ、宅配販売、無人直売所等の数の合計

※平成23・24年度は東日本大震災の影響等で活動休止中の直売所は合計から除外した。

(県農産物流通課調べ)

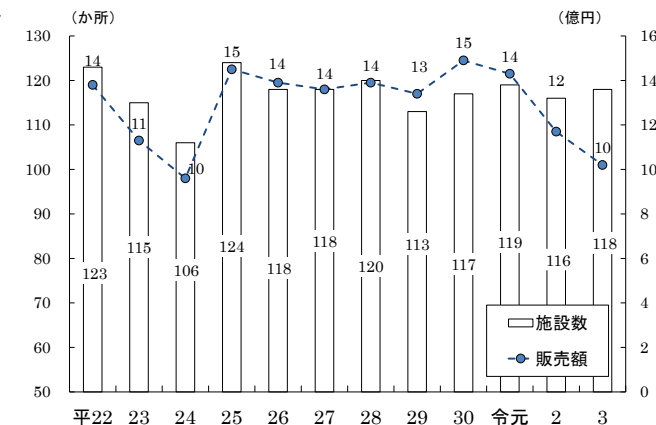
イ 農産加工施設

令和2年度の農産加工施設は118か所（令和4年4月1日現在）で、前年度と比較して2か所増加しています。

また、年間販売額は10億1,800万円であり、前年と比較して1億4,800万円（6.7%）減少しています。

**農産物加工所の施設数及び販売額の推移**

	農産物加工所	
	施設数 (か所)	販売額 (億円)
平22	123	13.8
23	115	11.3
24	106	9.6
25	124	14.5
26	118	13.9
27	118	13.6
28	120	13.9
29	113	13.4
30	117	14.9
令和元	119	14.3
2	116	11.7
3	118	10.2



※農産物加工所の対象は、個人経営を除いた農業者が主体的に運営している施設

※平成23・24年度は東日本大震災の影響等で活動休止中の施設は合計から除外した。

(県農産物流通課調べ)

(12) 野生鳥獣による農作物被害

令和3年度の被害面積は1万2,036aで前年より8,660a減少しました。

また、被害金額は1億3,984万円で前年より5,855万円減少しました。

被害金額の内訳は、イノシシが6,458万円で全体の約5割を占め、次いでサル1,819万円、ハクビシン1,427万円となりました。

農作物被害の推移

		被害面積 (a)							
		鳥獣計	鳥類	獣類	うち				
					イノシシ	サル	シカ	クマ	その他
福島県	平22	63,602	25,176	38,426	15,463	9,504	260	10,040	3,159
	23	34,648	10,427	24,221	12,992	5,515	450	2,649	2,615
	24	62,614	25,870	36,744	22,878	4,233	44	6,114	3,475
	25	28,443	7,499	20,944	16,085	1,615	105	1,318	1,821
	26	25,801	1,827	23,974	19,341	1,851	152	1,687	943
	27	18,555	2,376	16,179	12,992	792	119	415	1,861
	28	16,632	1,764	14,868	11,613	1,155	140	1,046	914
	29	13,027	1,320	11,706	8,940	1,119	507	405	735
	30	13,593	903	12,690	9,249	962	1,412	331	736
	令元	15,633	840	14,793	10,233	1,466	1,459	1,223	412
	2	20,696	794	19,902	12,443	1,619	3,693	1,198	949
	3	12,036	876	11,160	6,635	859	2,922	301	443

		被害金額 (千円)							
		鳥獣計	鳥類	獣類	うち				
					イノシシ	サル	シカ	クマ	その他
福島県	平22	157,981	31,116	126,865	52,542	32,950	102	31,304	9,967
	23	117,926	29,911	88,015	49,339	21,814	199	5,439	11,224
	24	164,973	39,200	125,773	68,430	20,538	377	26,865	9,563
	25	148,308	36,322	111,986	75,013	15,630	1,104	11,217	9,022
	26	189,197	36,623	152,574	98,127	25,008	1,573	16,988	10,878
	27	128,460	40,612	87,848	64,528	11,464	950	3,287	7,619
	28	168,152	34,673	133,479	94,939	15,788	939	9,156	12,657
	29	143,156	29,920	113,236	78,804	19,374	1,893	4,386	8,779
	30	167,387	32,889	134,498	98,201	17,555	3,587	3,479	11,676
	令元	179,326	24,971	154,355	104,172	22,397	9,006	9,498	9,282
	2	198,391	27,991	170,400	102,701	28,239	7,171	13,043	19,246
	3	139,842	26,559	113,283	64,581	18,190	10,511	3,810	16,191

※平成22年度以降の集計には東日本大震災等の影響のため、一部市町村は含まれていない。

(県環境保全農業課調べ)

## 5 農業・農村の整備

本県農業・農村の整備については、「福島県農林水産業振興計画」に基づき、計画的に取組が進められています。なお、令和4年度末現在の農業・農村の整備状況は、下表のとおりとなっています。

展開方向	指標名	目標 (R12)	実績 (R4まで)	進捗率 (%)
		目標値 (A)	実績値 (B)	B/A
東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化	放射性物質対策が完了したため池の割合	93%	85.0%	91.4%
生産基盤の確保・整備と試験研究の推進	ほ場整備率	78%	74.8%	95.9%
	補修・更新により安定的な用水供給機能が維持される面積 (累計)	63,356ha	14,937ha	23.6%
活力と魅力ある農山漁村の創生	地域共同活動による農地・農業用水路等の保全管理面積の割合	57%	53%	93.0%
	遊休農地の解消面積 (累計)	4,500ha	707ha (※1)	15.7%
	防災重点農業用ため池整備着手数 (累計)	124箇所	8箇所	6.5%

※1 令和3年度実績

(県農村計画課調べ)